

地域福祉推進のプログラム

福祉のまちづくりの主体は住民という立場で、
地域福祉推進のプログラムの推進を図ります。

< 推進のめやす >

第11回改訂版

令和元年11月



②<推進のめやす>本編

計画書第4章『地域福祉推進のプログラム』に位置づけられた本市の地域福祉を具体的に推進していくための46の取り組み毎に学区福祉委員会、宇治ボランティア活動センター、宇治市福祉サービス公社、宇治市社会福祉協議会、宇治市の順に事業を掲載しています。

評価について

(1) 目的

平成23年3月に策定した第2期宇治市地域福祉計画を進行管理していくにあたり、「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」に掲載している事業における成果と課題の整理を行うことを目的とし、行政が実施主体である事業について内部評価を行う。

(2) 評価の考え方

宇治市地域福祉計画に関連する事業の実施状況から、同計画に位置づけられた“具体的な取り組み”をどれくらい達成できたかを判断します。

(3) 評価指標

F (Finish)	事業の目的を達成したため終了した。
A	計画的に事業を実施しており、引き続き充実を図る。
B	事業は継続するが、新たな課題等への対応が必要。
C	ニーズを勘案し、事業の縮小、休廃止に向けた見直しが必要。
D	一時休止、保留などの事業。
- (ハイフン)	隔年等で実施するため、評価対象年度の実績がない。

前年度における成果と実績を記載しています。

評価時点での今後3年間の見込みを記載しています。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 地域福祉課	地域福祉推進事業	宇治市地域福祉計画に基づき、福祉のまちづくりを進めるため、実施する各事業の進行管理を行う。また、住民主体の取り組みを支援し、促進するために、出前講座を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		第2期宇治市地域福祉計画の目的達成に向け、地域福祉推進委員会の議論を踏まえて計画に位置づけられた各事業の評価を行った。今後、社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画との連携を図ることが課題である。 ・地域福祉推進委員会2回 ・出前講座 1回	・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会 2回 ・出前講座 1回	・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会 2回 ・出前講座 1回	・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会 2回 ・出前講座 1回
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
	評価	評価に対する説明			
	B	第2期宇治市地域福祉計画の進行管理において、事業評価の手法を課題としており、地域福祉推進委員会での検討結果をふまえて評価手法を改めていく。地域福祉に関する情報発信等について、関係部局と協議を行う必要がある。			

評価指標に基づく評価を記載しています。

評価に対する説明を記載しています。課題がある場合は課題を記載しています。

■ 目次

	実施主体	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進									
				(1)			(2)			(3)			(4)			(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
1	学区福祉委員会	介護予防普及啓発事業の実施	4	●																		
2	学区福祉委員会	災害時体制の宇治市災害ボランティアセンターへの協力	15				●															
3	学区福祉委員会	高齢者見守りマップの作成	21							●												
4	学区福祉委員会	こどもの見守り活動の実施	21							●			○									
5	学区福祉委員会	災害対策検討委員会の開催	21							●												
6	学区福祉委員会	福祉バザーの開催	25									●										
7	学区福祉委員会	研修会の実施	25									●										
8	学区福祉委員会	広報紙作成研修会活動の実施	25									●						○				
9	学区福祉委員会	住民交流活動の実施	25									●										
10	学区福祉委員会	広野ふれあいまつりの開催	25									●	○									
11	学区福祉委員会	西小倉地区福祉まつりの開催	25									●	○									
12	学区福祉委員会	福祉委員の募集強化月間について	25									●										
13	学区福祉委員会	菟道第二学区福祉委員会 ビジョンH30の作成	25									●										
14	学区福祉委員会	榎福まつりの開催	25									●	○									
15	学区福祉委員会	福祉サポーターの呼びかけ	25									●	○									
16	学区福祉委員会	北榎ランドゴルフの開催	25									●										
17	学区福祉委員会	小学生や中学生との交流	29									○	●									
18	学区福祉委員会	左義長等の交流会の開催	29									○	●									
19	学区福祉委員会	三世交代「夏まつり」の開催	29									○	●									
20	学区福祉委員会	学校農園による子どもたちへの農業指導	29										●									
21	学区福祉委員会	施設との交流	29										●									
22	学区福祉委員会	町内会への防災意識アンケートの実施	29								○		●									
23	学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への年賀状等による交流事業	29										●									
24	学区福祉委員会	子どもの居場所づくり事業への協力	29										●									
25	学区福祉委員会	御蔵山ゆゆう輪蔵ぶ「ありがとう切符(蔵)」への支援	31										○	●								
26	学区福祉委員会	各学区福祉委員会における広報紙発行	34									○						●				
27	学区福祉委員会	ジュニア和太鼓サークルの育成	37																			
28	学区福祉委員会	高齢者施設への支援	37																			
29	学区福祉委員会	障害者施設への支援活動	37																			
30	学区福祉委員会	赤い羽根共同・歳末募金への協力活動	41																			
31	学区福祉委員会	公園サロンの開催	45									○	○									
32	学区福祉委員会	福祉農園の運営	45																			
33	学区福祉委員会	ふれあい茶店の開催	45									○										
34	学区福祉委員会	ふれあいサロンの開催及び支援	45																			
35	学区福祉委員会	敬老のつどい開催	47																			
36	学区福祉委員会	認知症・防災プロジェクト	47																			
37	学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への訪問活動	48																			
38	学区福祉委員会	一人暮らし高齢者の見守り訪問活動	48																			
39	学区福祉委員会	高齢者見守り活動の強化	48																			
40	学区福祉委員会	歳末ふれあい事業の実施	48																			
41	学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への給配食サービス	48																			
42	学区福祉委員会	「命のカプセル」の配布・訪問活動の強化	48																			
43	学区福祉委員会	サロン連絡会の開催	52																			
44	宇治ボランティア活動センター	ボランティアマッチングサロン	27										●					○				
45	宇治ボランティア活動センター	ボランティアの発掘	27										●									
46	宇治ボランティア活動センター	宇治ボランティア活動センター運営委員研修の開催	32															●				
47	宇治ボランティア活動センター	ボランティア(登録)団体への活動費等の助成と機材貸出し	32															●				

■ 目 次

	実施主体	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進						
				(1)		(2)			(3)		(4)		(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
48	宇治ボランティア活動センター	宇治ボランティア活動センターによるボランティア活動の啓発	34															●	
49	宇治ボランティア活動センター	ボランティアフェスティバルの開催	34																●
50	宇治ボランティア活動センター	マスコットキャラクター(ゆるキャラ)の運用	34																●
51	宇治ボランティア活動センター	京都文教大学ボランティア演習の学生受入れ	34																●
52	宇治ボランティア活動センター	宇治福祉まつりへの参加	34																●
53	宇治ボランティア活動センター	イオン黄色いレシートキャンペーンへの参加	42																
54	宇治ボランティア活動センター	「バリアフリー映画」の上映	43																
55	宇治ボランティア活動センター	おもいの駅伝の開催	43																
56	宇治ボランティア活動センター	ボランティア活動センター登録サークル、個人交流会の開催	52																
57	宇治市福祉サービス公社	介護予防事業の実施	4		●														
58	宇治市福祉サービス公社	介護予防サポートセンターを主体とした各種介護予防事業等の実施と情報提供	11			●													
59	宇治市福祉サービス公社	健康増進に向けた各種教室や研修の実施	11			●													
60	宇治市福祉サービス公社	市民向け各種講座、支援活動の実施	14				●												
61	宇治市福祉サービス公社	地域に根ざす拠点としての、地域福祉センターの活用の推進	25									●							
62	宇治市福祉サービス公社	通所介護施設における体験実習やボランティアの受け入れ、介護予防事業におけるボランティアの受け入れ、ほほえみ介護塾、各種市民向け研修の開催	27										●						
63	宇治市福祉サービス公社	通所介護での世代間交流イベントの実施	29											●					
64	宇治市福祉サービス公社	介護体験の受け入れ	30												●				
65	宇治市福祉サービス公社	高齢期支援システムとしての生涯学習(生きがいづくり)の企画実施	32																●
66	宇治市福祉サービス公社	福祉人材研修事業の受託や介護員養成講座(介護職員初任者研修課程)の実施	32																●
67	宇治市福祉サービス公社	福祉事業者・介護支援専門員向け研修の実施	32																●
68	宇治市福祉サービス公社	地域支援活動等を目的としたNPO法人等の立ち上げ支援	32																●
69	宇治市福祉サービス公社	在宅保健サービスについての知識の普及・啓発事業	37																
70	宇治市福祉サービス公社	地域団体等との連携・協力を積極的に関わる	37																
71	宇治市福祉サービス公社	地域福祉センター管理運営事業	38																
72	宇治市福祉サービス公社	共同・歳末募金への協力活動事業	41																
73	宇治市福祉サービス公社	情報誌等による事業内容の紹介	43																
74	宇治市福祉サービス公社	障害者・高齢者への理解を深めるための各種講座などの取り組み	43																
75	宇治市福祉サービス公社	初期認知症総合相談支援事業	43																
76	宇治市福祉サービス公社	認知症初期集中支援チーム事業	43																
77	宇治市福祉サービス公社	宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の事務局業務	43																
78	宇治市福祉サービス公社	地域福祉センター等での「地域福祉のつどい」・「コミュニティカフェ」の開催	52																
79	宇治市福祉サービス公社	第三者評価の受け入れによるサービスの質の向上	54																
80	宇治市福祉サービス公社	地域包括支援センター事業の推進	55																
81	宇治市福祉サービス公社	地域支援事業推進のための体制整備事業	55																
82	宇治市福祉サービス公社	障害者相談支援事業	60																
83	宇治市福祉サービス公社	地域支援活動等を目的としたNPO法人等の支援	63																
84	宇治市福祉サービス公社	弁護士による法律相談	69																
85	宇治市福祉サービス公社	財産管理サービスの実施	75																
86	宇治市福祉サービス公社	ホームページや広報誌による福祉関連情報・介護予防関連情報の発信	77																
87	宇治市福祉サービス公社	福祉サービス事業者の質の向上に努め、在宅介護の積極的的事业展開を図る	80																
88	宇治市福祉サービス公社	介護予防関連研修事業	80																
89	宇治市社会福祉協議会	介護予防普及啓発事業B型リハビリ教室の開催	4		●														

■ 目次

	実施主体	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進						
				(1)		(2)			(3)		(4)		(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
90	宇治市社会福祉協議会	宇治市老人福祉センターサークル協議会運営支援	14				●												
91	宇治市社会福祉協議会	宇治市総合防災訓練への参加	15					●											
92	宇治市社会福祉協議会 (宇治市災害ボランティアセンター)	宇治市災害ボランティアセンターの常設運営	15					●											
93	宇治市社会福祉協議会	他市町村の豪雨災害等での災害ボランティアセンター支援活動	15					●											
94	宇治市社会福祉協議会	第3次宇治市地域福祉活動計画 うじピョンの“いいね”アクションプランの推進	27										●					○	
95	宇治市社会福祉協議会	ボランティア講師の調整	30											●					
96	宇治市社会福祉協議会	中学生と赤ちゃんのふれあい交流	30											●					
97	宇治市社会福祉協議会	西小倉地区社協と城南菱創高校・市社協の連携による高齢者への訪問活動	30											●					
98	宇治市社会福祉協議会	京都文教大学との連携によるボランティア活動の促進	30											●					
99	宇治市社会福祉協議会	ボランティア保険の取り扱い	32														●		
100	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会視察研修の調整	32														●		
101	宇治市社会福祉協議会	宇治市学区福祉委員会連絡協議会への支援	32														●		
102	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会連絡協議会による『学区福祉委員強化月間の取組み』支援	34															●	
103	宇治市社会福祉協議会	社会福祉協議会の会員募集(事業所会員等)	35															●	
104	宇治市社会福祉協議会	企業の社会貢献及び地域福祉活動財源強化のための自動販売機設置推進	35															●	
105	宇治市社会福祉協議会	異業種とのネットワークづくり事業	35															●	
106	宇治市社会福祉協議会	備品の貸出し	37																
107	宇治市社会福祉協議会	赤い羽根コラボ助成金事業への支援(宇治市共同募金委員会との連携)	37														○		
108	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会活動への支援	37																
109	宇治市社会福祉協議会	宇治市総合福祉会館の管理運営	38																
110	宇治市社会福祉協議会 (宇治市共同募金会)	赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の実施協力	41																
111	宇治市社会福祉協議会	ふれあい基金・ボランティア基金の運営	41																
112	宇治市社会福祉協議会 (宇治市共同募金会)	自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置	41																
113	宇治市社会福祉協議会	災害時支援活動準備金の運営	41																
114	宇治市社会福祉協議会	在宅高齢者介護者リフレッシュ事業による介護者支援	43																
115	宇治市社会福祉協議会	Hot! ふれあいサロンへの支援(宇治市共同募金委員会との連携)	45																
116	宇治市社会福祉協議会	地域ひとつなぎ事業助成	47																
117	宇治市社会福祉協議会	一人暮らし高齢者等への訪問活動への支援	48																
118	宇治市社会福祉協議会	児童虐待防止ネットワークへの参画	48																
119	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会による一人暮らし老人等への声かけ、見守り活動を媒介にしたネットワークづくり	48																
120	宇治市社会福祉協議会	宇治福祉まつりの開催	52																
121	宇治市社会福祉協議会	新春福祉のつどいの開催	52																
122	宇治市社会福祉協議会	木幡地域懇談会	52																
123	宇治市社会福祉協議会	身体障がい者デイサービス事業の開催	54																
124	宇治市社会福祉協議会	身体障がい者移動支援事業	54																
125	宇治市社会福祉協議会	おしゃべりキャッチボール、赤ちゃんサロン、赤ちゃん広場、赤ちゃんパークの開設	57																
126	宇治市社会福祉協議会	宇治市地域自立支援協議会「こども」部会への参画	60																
127	宇治市社会福祉協議会	「認知症疾患医療連携協議会」への参画	62																
128	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会の小地域ネットワーク活動における民生児童委員との連携	62																
129	宇治市社会福祉協議会	福祉サービス公社や他法人との合同プロジェクトの実施	62																
130	宇治市社会福祉協議会	市内社会福祉法人との連携事業の検討	62																
131	宇治市社会福祉協議会	れもねいど推進協議会への参画	62																

2. 地域福祉活動への住民参画の推進						3. ゆるやかな支え合い						4. 多様な福祉サービスの創生と展開								5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供								事業費 (円)	市支出金 (円)	備 考
(4)		(5)		(6)		(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(4)						
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45			
																											0	0		
																												0	0	
																												322,044	150,000	
																												0	0	
																												4,764	0	
																												0	0	
																												No.125に含む	0	
																												0	0	
																												388,800	0	
																												0	0	
																												0	0	
																												108,125	0	
																												No.101に含む	No.101に含む	
																												1,233,548	0	
																												83,267	0	
																												40,000	0	
																												48,330	0	
																												0	0	事業名変更
																												0	0	
																												25,297,915 (人件費含む)	25,297,915 (人件費含む)	
																												0	0	事業名変更
																												0	0	
																												0	0	
																												0	0	
																												2,007,460	2,007,460	
																												0	0	事業名変更
																												592,200	0	
																												0	0	
																												0	0	
																												0	0	
																												1,187,669	0	
																												2,092,441	0	
																												130,642	0	
																												216,563 (人件費含む)	372,759	
																												1,394,037 (人件費含む)	2,226,007	
																												934,400	0	
																												0	0	
																												0	0	
																												0	0	
																												42,438	0	事業名変更
																												0	0	
																												0	0	新規

2. 地域福祉活動への住民参画の推進						3. ゆるやかな支え合い						4. 多様な福祉サービスの創生と展開						5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供						事業費 (円)	うち市支出金 (円)	備 考					
(4)		(5)		(6)		(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(4)													
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41				42	43	44	45	46
																		●										No.107に含む	0		
																		●											1,743,380	0	
																		●											0	0	
																		●											4,575,000 (人件費含む)	4,575,000 (人件費含む)	
																		●											1,919,000 (人件費含む)	1,919,000 (人件費含む)	新規
																		●											7,098,252 (人件費含む)	0	
																		●											0	0	
																		●											900,000	900,000	
																		●											1,756,000	1,756,000	
																													0	0	
																													No.147に含む	No.147に含む	
																													No.147に含む	No.147に含む	
																													No.147に含む	No.147に含む	
																													No.147に含む	No.147に含む	
																													4,003,289 (人件費含む)	3,600,000 (人件費含む)	
																													0	0	
																													4,864,765 (人件費含む)	979,500 (人件費含む)	
																													No.149に含む	0	
					○																								2,349,798	0	
					○																								No.151に含む	0	
																													0	0	
																													0	0	
																													0	0	

宇治市掲載事業一覧

目次

	担当課	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進						
				(1)		(2)			(3)		(4)		(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	危機管理室	防災対策推進事業	15					●											
2	危機管理室	防災出前講座	16					●											
3	危機管理室	京都府防災・防犯情報メールの配信事業	16					●											
4	危機管理室	災害時における避難行動要支援者支援事業	24							●									
5	秘書広報課	宇治市ホームページの運営	77																
6	総務課	安全・安心まちづくり推進事業	21							●									
7	総務課	犯罪被害者等支援事業	46																
8	文化自治振興課	地域コミュニティ活動支援事業	37																
9	文化自治振興課	集会所維持管理事業	40																
10	産業振興課	空き店舗活用支援事業	38																
11	産業振興課	宇治労政ニュース発行事業	67																
12	産業振興課	城南地域職業訓練協会運営補助事業	67																
13	産業振興課	緊急雇用対策事業	68																
14	人権啓発課	人権啓発事業	1	●															
15	人権啓発課	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業	38																
16	男女共同参画課	男女共同参画施策推進事業	2	●															
17	男女共同参画課	DV対策事業	49																
18	ごみ減量推進課	ふれあい収集	49																
19	地域福祉課	自殺対策事業	50																
20	地域福祉課	地域福祉推進事業	52																
21	地域福祉課	くらしの資金貸付事業	65																
22	生活支援課	生活困窮者に係る自立支援	70																
23	障害福祉課	手話奉仕員養成講座開設事業	32														●		
24	障害福祉課	障害者生活支援センター運営事業	60																
25	障害福祉課	地域自立支援協議会運営委託事業	60																
26	障害福祉課	障害者生活支援事業	61																
27	障害福祉課	地域活動支援センター等事業	75																
28	障害福祉課	障害者成年後見制度利用支援事業	75																
29	子ども福祉課	ひとり親家庭自立支援事業	2	●															
30	子ども福祉課	育成学級緊急安全対策事業	21							●									
31	子ども福祉課	乳幼児健康支援一時預かり事業	57																
32	子ども福祉課	子どもショートステイ事業	57																
33	子ども福祉課	地域子育て支援拠点事業	58																
34	子ども福祉課	地域子育てひろば支援事業	58																
35	子ども福祉課	ファミリー・サポート・センター運営事業	58																
36	子ども福祉課	子育て支援総合コーディネート事業	58																
37	子ども福祉課	子ども・子育て情報発信事業	59																
38	子ども福祉課	ひとり親家庭等福祉生活資金貸付金	66																
39	子ども福祉課	ひとり親家庭自立支援給付事業	68																
40	保育支援課	保育所等緊急安全対策事業	22							●									
41	保健推進課	各種予防接種事業	4		●														
42	保健推進課	3か月児健康診査	5		●	○													
43	保健推進課	10か月児健康診査	5		●	○													
44	保健推進課	1歳8か月児健康診査	5		●	○													
45	保健推進課	3歳児健康診査	5		●	○													

■ 目 次

	担当課	事 業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への 住民参画の推進						
				(1)				(3)			(4)		(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
91	道路建設課	交通安全施設整備事業	19								●								
92	雨水対策課	河川改修事業	17								●								
93	雨水対策課	排水路改良事業	17								●								
94	雨水対策課	公共下水道(雨水)整備事業	18								●								
95	公園緑地課	黄檗公園再整備事業	16									●							
96	公園緑地課	公園バリアフリー整備事業	19								●								
97	公園緑地課	まちかどふれあい花たん推進事業	33														●		
98	公園緑地課	みどりのボランティア推進事業	33														●		
99	建築指導課	耐震診断・耐震改修推進事業	18								●								
100	建築指導課	ブロック塀等緊急安全対策支援事業	18								●								
101	交通政策課	交通バリアフリー推進事業	20								●								
102	教育総務課	地域緊急安全対策事業	22								●								
103	学校管理課	小・中学校学校施設整備・大規模改造事業	20								●								
104	生涯学習課	市民啓発推進事業	2	●															
105	生涯学習課	スポーツ教室開催事業	13		●														
106	生涯学習課	障害者教室開催事業	26									●							
107	生涯学習課	障害者スポーツ大会の開催	26									●							
108	生涯学習課	人材バンク事業	27									●							
109	生涯学習課	子どもの居場所づくり支援事業	39																
110	生涯学習課	野外活動センター管理運営事業	40																
111	学校教育課	幼稚園緊急安全対策事業	23								○	●							
112	学校教育課	小・中学校「総合的な学習の時間」推進事業	30											●					
113	学校教育課	図書館ボランティア養成事業	33														●		
114	教育支援課	放課後子ども教室支援事業	39																
115	教育支援課	不登校児童生徒自立支援教室運営	51																
116	教育支援課	心と学びのパートナー派遣事業	51																
117	教育支援課	不登校児童生徒支援事業	51																
118	教育支援課	青少年電話相談活動事業	71																
119	生涯学習センター	生涯学習センター講座等開催事業	2	●															
120	生涯学習センター	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)事業	28										●						
121	善法青少年センター	善法青少年センター事業	3	●										○					
122	河原青少年センター	河原青少年センター事業	3	●										○					
123	大久保青少年センター	大久保青少年センター事業	3	●										○					
124	指揮指令課	要配慮者情報管理事業	16														●		

第4章 第2期計画の実施に向けて

3 地域福祉推進のプログラム

柱	<p>1. 安全・安心に暮らせるまちづくり</p> <p>一人ひとりの人権が尊重され、誰もが住み慣れた地域で安全に、安心していきいきと暮らしていくことができるように、環境の整備や支え合いのしくみづくりを推進します。</p>
---	--

大項目	(1) 個人の尊厳と基本的人権を尊重し、地域の課題解決に向けた取り組みを地域全体で進められるように推進・支援します。
具体的な取り組み	1 同和問題や女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人、難病患者等をめぐる人権問題を課題としながら、一人ひとりが命の尊さや互いの基本的人権を尊重し合う福祉社会実現の取り組みを推進・支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要	
宇治市 人権啓発課	人権啓発事業	宇治市第2次人権教育・啓発推進計画に基づき、各種の啓発事業を実施し、「人権尊重の理念の普及」と「さまざまな人権問題の解決」に向けた市民の人権意識の向上や市民相互の交流促進を図る。	
	◆成果・実績及び見込み		
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)
	<p>◎人権強調月間(8月)の取組</p> <p>平和☆ひゅうまん夏フェスタ(文化センター 1,800人参加)／人権啓発スポットCM放送(エフエム宇治放送 1日3回放送)／人権啓発懸垂幕掲示(市役所庁舎)／人権啓発パネル展示(市役所市民ギャラリー)／街頭啓発(アルプラザ宇治東店 啓発物品配布)</p> <p>◎人権週間(12/4～12/10)の取組</p> <p>ひゅうまんフェスタ(生涯学習センター周辺一帯 1,000人参加)／人権啓発スポットCM放送(エフエム宇治放送 1日3回放送)／人権啓発懸垂幕掲示(市役所庁舎)／人権啓発パネル展示(市役所市民ギャラリー)／街頭啓発(コーナンJR宇治駅北店 啓発物品配布)</p> <p>◎その他の取組</p> <p>情報紙「jinken」配布(8月、1月 各号8万部)／楽しく学ぶ人権講座(2～3月 生涯学習センター他 319人参加)／人権の花運動(10月～3月 市内小学校3校で実施)／人権啓発物品配布(年間 各種催し 5,200個配布)／啓発教材(DVD等)貸出(年間 37本貸出)／市政だよりによる広報・啓発(年間)／人権啓発懸垂幕掲示(5月 市役所庁舎)</p> <p>◎山城地区広域連携事業</p> <p>山城人権ネットワーク推進協議会(ひゅうまんねっとやましろ)を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。</p>		<p>◎人権強調月間(8月)の取組</p> <p>平和☆ひゅうまん夏フェスタ(1,300人参加)／スポットCM放送／懸垂幕掲示／パネル展示／街頭啓発</p> <p>◎人権週間(12/4～12/10)の取組</p> <p>ひゅうまんフェスタ(1,000人参加見込み)／スポットCM放送／懸垂幕掲示／パネル展示／街頭啓発</p> <p>◎その他の取組</p> <p>情報紙「jinken」配布(各号8万部)／楽しく学ぶ人権講座(260人参加見込み)／人権の花運動(市内小学校3校で実施予定)／啓発物品配布(5,300個配布見込み)／啓発教材(DVD等)貸出(45本貸出見込み)／市政だよりによる広報・啓発／懸垂幕掲示</p> <p>◎山城地区広域連携事業</p> <p>山城人権ネットワーク推進協議会(ひゅうまんねっとやましろ)を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。</p>
			2020年度見込 (令和2年度)
		実施	実施
◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明		
B	各種の広報・啓発事業を実施したことにより、人権尊重理念を普及し、さまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握、分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践活動できるような取組を検討する必要がある。		

宇治市 男女共同 参画課	男女共同参画施策推進事業	男女共同参画に関する各種講座やあさぎりフェスティバルなどのイベントを開催、情報誌の発行、「女性のための相談」「男性のための相談」を実施する。いろいろな分野でチャレンジしている、またはチャレンジしようとする女性を支援するための相談窓口を開設する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	各種セミナー(全7講座) 延べ404人参加 あさぎりフェスティバル 延べ1,000人参加 男女共同参画週間UJIのつどい 110人参加 情報誌 年4回各2,000部発行 女性のための相談 一般相談 186件、専門相談 127件 男性のための相談 26件 ここからチャレンジ相談 全24回・延べ95人参加		実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		概ね計画どおりに実施している。			
宇治市 こども福祉課	ひとり親家庭自立支援事業	ひとり親家庭の自立に向けた総合的な支援を実施するため、情報提供や求職活動、職業能力向上に関する相談を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭に情報提供や相談指導を行った。		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		母子・父子自立支援員を週3日配置し、関係機関と連携しながら相談に応じ、ひとり親家庭の自立に向けて支援をすることができた。28年度から児童扶養手当の現況届提出時期である8月は週4.5日配置、またハローワークの出張窓口を市役所内に開設し、ひとり親家庭が必要な支援に確実につながるよう相談しやすい体制としているほか、児童扶養手当現況届では、休日・平日夜間の窓口開設日を設けている。今後は、より効果的な自立支援のため、支援員の配置は8月以外の月も週4.5日としたい。			
宇治市 生涯学習課	市民啓発推進事業	人権問題を正しく認識し、市民自らが自分の問題として理解し、日常生活の中で差別を許さない目を持って捉えられるよう、人権啓発用の視聴覚教材を貸し出している。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	市民に人権教育フィルム・ビデオテープ・DVDの貸し出しを行った。		市民に人権教育フィルム・ビデオテープ・DVDの貸し出しを行う。	市民に人権教育フィルム・ビデオテープ・DVDの貸し出しを行う。	市民に人権教育フィルム・ビデオテープ・DVDの貸し出しを行う。
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		人権問題啓発用視聴覚教材の貸出について、多方面で広報し、貸出を行っているが、さらなる周知・PRが必要である。			
宇治市 生涯学習 センター	生涯学習センター講座等 開催事業	社会・時代の変化に対応するための各種講座の開設など学習の場を提供し、市民の学習機会の拡充を通じて生涯学習を推進する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	環境、古代史等をテーマにした各種講座等に延べ約4,200人が参加した。また、生涯学習情報紙を市民スタッフと共に編集し、年4回計10,000部発行、ホームページにも掲載し、市内の学習情報の提供に努めた。		実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		講座等の開催により、市民の生涯学習の充実と、その成果を活かして地域で活動する人材育成を図ることができた。今後も主体的に生涯学習に取り組む機会を提供する。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 善法青少年センター	善法青少年センター事業		人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動・体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施する。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	学習・文化活動としては、書道教室・えいごくらぶ・手作り教室・料理教室・体験合宿・学習会等を実施した。体育・スポーツ・レクリエーション活動としては、親子レクリエーション・スポーツクラブ・お楽しみ会・体験シリーズ・おもしろパーティー等を実施した。各活動により、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動や学習の促進を図ることができた。		学習・文化活動・体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施	学習・文化活動・体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施	学習・文化活動・体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		毎年、センターに来館する児童や生徒が変わっていくため、その子ども達の状況に応じた事業内容を検討し続けていく。			
宇治市 河原青少年センター	河原青少年センター事業		人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施する。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	学習・文化活動として、エイゴであそぼ(8回)、工作教室(2回)、体験学習(4回)、百人一首大会(1回)、お茶教室(10回)、活動発表会(1回)などを実施した。体育・スポーツ・レクリエーション活動として、ダンス教室(10回)、アウトドア教室(1回)、カメレオン・パニック(1回)、チャレンジクリスマス(1回)などを実施した。		学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動を実施予定。主な事業は、エイゴであそぼ、工作教室、百人一首大会、お茶教室、ダンス教室、アウトドア教室、カメレオンパニック、チャレンジクリスマス	学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動の実施	学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動の実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		各種事業活動によって子どもたちの「生きる力」が育まれており、今後も継続実施する。			
宇治市 大久保青少年センター	大久保青少年センター事業		青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動の促進を図ることを目的に、こどもクラブ、各種教室、催し物等を実施する。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	青少年の健全育成を図るため、各種教室、催し物、こどもクラブ、地域との交流など、活動の充実に努めた。 各種教室・催し物38回 参加人数1,957人 こどもクラブ147回 参加人数2,173人		各種教室・催し物 58回 こどもクラブ 117回	各種教室・催し物 58回 こどもクラブ 117回	各種教室・催し物 58回 こどもクラブ 117回
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		市内各校から、多くの子どもたちが各事業に参加した。また子どもたちのニーズを把握し、事業内容の充実に努めた。地域の各世代とのふれあいや他の学校や学年の子どもとの交流や友だちづくりができた。概ね計画どおりであるが、より多くの子どもの参加を促すため、今後も引き続き事業内容の工夫に努める必要がある。			

大項目	(2) 健康でいきいきと暮らしていくために、こころと体の健康づくりを推進します。
具体的な取り組み	2 各種予防事業に積極的に取り組みます。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	介護予防普及啓発事業の実施 (笠取・笠取第二除く)	各学区のB型リハビリ教室への運営支援を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	介護予防事業の実施	宇治市委託により、運動・口腔能力の向上、栄養改善、認知症予防を総合的に行う教室を開設し、機能回復維持を図り、要介護状態にならないようサポートを計画的に行う。また、脳活性化事業として歌唱を通して脳を活性化する「歌笑会」を実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	介護予防普及啓発事業B型リハビリ教室の開催	宇治市よりの受託事業。概ね週1回、山間地域を除く各小学校区にて、地域ボランティアが主体となり、高齢者の介護予防活動の普及や啓発に取り組む。利用者はもちろんのこと、身近な住民によるボランティアの健康づくりとご近所同士のつながりづくりを進めている。年4回介護予防に関する研修等も実施している。

実施主体・担当課	事業	事業概要																																	
宇治市 保健推進課	各種予防接種事業	予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																																	
	◆成果・実績及び見込み																																		
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)																														
	<p>予防接種法に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種乳幼児健診時、市民カレンダー、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <p style="text-align: center;">(人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>接種者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>BCG(集団接種)</td><td>1,243</td></tr> <tr><td>不活化ポリオ</td><td>21</td></tr> <tr><td>4種混合</td><td>5,072</td></tr> <tr><td>3種混合</td><td>0</td></tr> <tr><td>2種混合</td><td>1,119</td></tr> <tr><td>麻しん風しん混合</td><td>2,715</td></tr> <tr><td>麻しん</td><td>1</td></tr> <tr><td>風しん</td><td>0</td></tr> <tr><td>日本脳炎</td><td>7,048</td></tr> <tr><td>ヒブ</td><td>4,944</td></tr> <tr><td>小児用肺炎球菌</td><td>4,964</td></tr> <tr><td>水痘</td><td>2,458</td></tr> <tr><td>B型肝炎</td><td>3,650</td></tr> <tr><td>BCG</td><td>13</td></tr> </tbody> </table> <p>※還付分含む</p>			接種者数	BCG(集団接種)	1,243	不活化ポリオ	21	4種混合	5,072	3種混合	0	2種混合	1,119	麻しん風しん混合	2,715	麻しん	1	風しん	0	日本脳炎	7,048	ヒブ	4,944	小児用肺炎球菌	4,964	水痘	2,458	B型肝炎	3,650	BCG	13	法改正に合わせ、適切な予防接種を実施	法改正に合わせ、適切な予防接種を実施	法改正に合わせ、適切な予防接種を実施
		接種者数																																	
BCG(集団接種)	1,243																																		
不活化ポリオ	21																																		
4種混合	5,072																																		
3種混合	0																																		
2種混合	1,119																																		
麻しん風しん混合	2,715																																		
麻しん	1																																		
風しん	0																																		
日本脳炎	7,048																																		
ヒブ	4,944																																		
小児用肺炎球菌	4,964																																		
水痘	2,458																																		
B型肝炎	3,650																																		
BCG	13																																		
◆2018年度(平成30年度)の評価																																			
評価	評価に対する説明																																		
B	法改正に適切に対応し、感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。令和元年度も国の措置に対応し、適切な疾病予防を継続実施する。																																		

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 保健推進課	3か月児健康診査	生後3～4カ月頃は、体重の増加や外界に対する器官の発達など心身の著しい発達が進む時期であり、健診により先天性疾患等の早期発見を可能とする。特に心疾患、股関節脱臼、中枢性協調障害の発見や心身発達の遅れの指導、離乳食の指導をポイントとしている。また、育児不安の強い親への基本的な育児指導など精神的支援も行う。			
		◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	乳児期の健全な成長発達を図るため健診を実施した。健診は月4回、健やかセンターにて実施した。 受診者数 1,239人(受診率:98.3%)		月4回健やかセンターにて実施	月4回健やかセンターにて実施	月4回健やかセンターにて実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		子どもの発達段階に合わせた集団指導、健診項目を実施することによって、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。近年、核家族化の進行などによって、育児に関する相談が増えており、今後も妊娠・出産期から切れ目ない支援ができるよう子育て支援を推進する必要がある。			
宇治市 保健推進課	10か月児健康診査	乳児期後期における中枢性協調障害、痙性両麻痺、聴力障害等の異常の発見とともに1歳8カ月児健診で発見される自閉症などの早期発見、早期対応に努める。			
		◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	乳児期の健全な成長発達を図るため、(一社)宇治久世医師会に委託し健診を実施した。また、経過を見る必要がある乳児に対しては、健やかセンターで経過健診を月1回実施した。 10か月健診 受診者数 1,211人(受診率:96.1%) 10か月经過健診 受診者数 128人		健診は(一社)宇治久世医師会へ委託し、経過健診を月1回実施	健診は(一社)宇治久世医師会へ委託し、経過健診を月1回実施	健診は(一社)宇治久世医師会へ委託し、経過健診を月1回実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		子どもの発達段階に合わせた健診項目を実施することによって、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。幼児期へ向けて育児上の困りごとが増加する時期であるため、パンフレット等を見直すなどし、さらに保健指導について検討する必要がある。			
宇治市 保健推進課	1歳8か月児健康診査	月3～4回健やかセンターで実施する。内科健診・歯科健診・身体計測・栄養集団指導・保健指導等を行い必要に応じて個別の発達相談や栄養相談を行う。フォローアップ事業として地区担当保健師による訪問や発達相談、乳幼児相談で引き続き個別相談を行う。			
		◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	幼児期前期の健康の保持・増進を図るため、健診を実施した。健診は月3～4回、健やかセンターにて実施した。 受診者数 1,251人(受診率:98.3%)		月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		子どもの発達段階に合わせた集団指導、健診項目を実施することによって、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。近年、核家族化の進行や、発達支援が必要な子どもの増加などによって、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。			
宇治市 保健推進課	3歳児健康診査	3歳5～6カ月児を対象として、身体発育、精神発達の問題、視聴覚障害の早期発見など、多面的に診査し、総合的な判断と指導によって、就学前幼児の健康の保持、増進を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。内科健診、歯科健診、身体計測、検尿、視力検査、発達検査、保健指導などを実施する。			
		◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	幼児期後期の健康の保持・増進を図るため、健診を実施した。健診は月3～4回、健やかセンターにて実施した。 受診者数 1,389人(受診率:97.5%)		月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		子どもの発達段階に合わせた集団指導、健診項目を実施することによって、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。幼児期最後の健診であり、発育・発達状況を総合的に判断できるよう、より効果的な健診が実施できるよう検討する必要がある。			

宇治市 保健推進課	新生児訪問指導事業		この時期に親の希望に沿った新生児の養育上必要な保健指導を実施することで健やかな発育・発達を促す。また、地区担当の保健師の訪問により、子育て初期から親との信頼関係に基づき今後の一貫した母子保健サービスの展開につなげる。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	産婦及び新生児の妊娠中、出生時、現在の状況を把握し、それに対して保健指導を行った。また、今後の相談窓口として地区担当保健師を紹介するとともに、保健事業を普及・啓発し、安心して子育てが出来るよう援助した。 訪問件数 640件		希望により 随時実施	希望により 随時実施	希望により 随時実施	
◆2018年度(平成30年度)の評価						
評価		評価に対する説明				
B		新生児期の養育上必要な育児指導、先天性異常の早期発見等、適切な保健指導を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図ることができた。				
宇治市 保健推進課	妊娠・産後支援事業		・妊娠・出産・育児についての正しい知識を広め、妊産婦・乳児の健康の保持増進を図ることおよび孤独な育児を予防するため参加者同士が交流できるよう6つの教室を実施・している。また、個別指導が必要な妊婦には、妊婦訪問を行っている。 ・生後2カ月から就学までの子どもと保護者を対象に、育児や発達上の相談に対応し、育児不安軽減等の育児支援及び、虐待予防、地域の育児力向上を図るため乳幼児相談を実施している。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	妊産婦やその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座を実施し、参加者同士の交流を図った。また、専門職が適切に相談対応することにより、育児不安の軽減、虐待予防、地域の育児力向上を図った。 ハッピーマタニティクラス 18回開催 参加人数 104人 お世話体験 6回開催 参加人数 145人 クッキング 12回開催 参加人数 118人 沐浴 12回開催 参加人数 238人 ママのためのおはなし会 10回開催 参加人数 193人 産後ママのための育児相談会 18回開催 参加人数 157人 妊婦訪問 随時訪問 訪問人数 40人 乳幼児相談 65回開催 相談者数 1997人		各種教室及び 相談事業、 訪問事業を実施	各種教室及び 相談事業、 訪問事業を実施	各種教室及び 相談事業、 訪問事業を実施	
◆2018年度(平成30年度)の評価						
評価		評価に対する説明				
B		教室や訪問を実施することにより、妊娠期からの仲間づくりや父母ともに子育てするという意識の醸成、家庭での健康づくりを促進することができた。さらに、保健師や栄養士等の専門職が育児に不安のある親等からの相談を受け、育児負担の軽減や子育て支援を図ることができた。今後、参加しやすい日程の設定や、より効果的な実施手法を検討しながら継続実施する。また、地域子育て支援センターと連携し、市民が気軽に利用できるよう体制の充実に努める。				
宇治市 保健推進課	妊婦面談事業		子育て世代包括支援センターの設置に伴い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ないサポートを行うにあたり、母子健康手帳交付時に保健師による面談を行い、行政とのファーストタッチとして地区担当保健師を知り、安心して相談できる場を提供する。また、面談時には、子育て用品(宇治市ネウボラセット)を配布する。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行い、保健指導や必要に応じて子育て支援サービスの紹介を行った。また、子育て用品(宇治市ネウボラセット)を配布することで、子どもとのふれあいの大切さを理解してもらうとともに、行政との今後の関わりへのきっかけづくりとした。 面談件数 974件 ※平成30年6月から開始		母子健康手帳交付時に保健師による面談を実施し、ネウボラセットの配布を行う。	母子健康手帳交付時に保健師による面談を実施し、ネウボラセットの配布を行う。	母子健康手帳交付時に保健師による面談を実施し、ネウボラセットの配布を行う。	
◆2018年度(平成30年度)の評価						
評価		評価に対する説明				
B		母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行うことで、安心して相談でき、妊娠期から子育て期まで切れ目ないサポートができるよう関係性の構築を図ることができた。妊婦面談後の継続的な関わりができるよう引き続き切れ目ない子育て支援について検討する。				

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 健康 生きがい課	介護予防把握事業	閉じこもり等の何らかの支援を要する者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動へつなげるため、70歳・72歳以降3歳刻みの高齢者(ただし介護認定を持つ者等は除く)を対象に、訪問時に介護が必要な状況となるリスクについて判断し、必要に応じて保健指導や相談、関係機関への連携等の支援を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	介護予防把握訪問実人数 1,590人 介護予防把握訪問延べ人数 2,344人		介護予防把握訪問 対象者 1,600人	介護予防把握訪問 対象者 1,600人	介護予防把握訪問 対象者 1,600人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	対象者を早期に把握することで、何らかの支援を要する者に対し一般介護予防事業や関係機関へつなげることができた。対象者の把握に関する効果を検証する中で、今後の事業のあり方について検討することが必要。				
宇治市 健康 生きがい課	一般介護予防事業 複合型介護予防教室	65歳以上の市民に対し、介護予防の3本柱である運動、栄養、口腔及び認知症について複合的に学ぶことで全身的な機能の改善を図る。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	まるごとトレーニング教室 市内14会場 実人数 528人 延べ人数 9,167人		廃止	廃止	廃止
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	地域活動の活性化を目標に、新たな事業を開始する。 新たな事業は、教室卒業後に地域で介護予防活動に取り組む自主団体を立ち上げることを目指した事業。				
宇治市 健康 生きがい課	子宮頸がん予防接種事業	子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染予防のため、未感染の年代の女性に定期接種として実施。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	延べ接種件数 10件		延べ接種件数 20人	延べ接種件数 20人	延べ接種件数 20人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	子宮頸がん予防接種は、平成25年度から定期接種化しているが、平成25年6月14日の厚生労働省勧告により積極的な接種勧奨を控えている状況が続いており、今後も引き続き国の動向を注視していく必要がある。				

宇治市 健康 生きがい課	各種がん検診事業	大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診は40歳以上の市民を対象に実施。子宮頸がん検診は20歳以上、乳がん検診は40歳以上の女性対象に隔年実施。2018年度より、前立腺がん検診は50歳以上の男性対象に隔年実施。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	【個別がん検診】 大腸がん検診 受診者数 8,478人 要精密検査者数 893人 乳がん検診 受診者数 3,355人 要精密検査者数 212人 子宮頸がん検診 受診者数 3,062人 要精密検査者数 46人 前立腺がん検診 受診者数 1,569人 要精密検査者数 115人 【集団がん検診】 胃がん検診 受診者数 1,638人 要精検査者数 150人 肺がん検診 受診者数 3,081人 要精検査者数 120人		【個別がん検診】 大腸がん検診 受診者数 8,478人 乳がん検診 受診者数 3,355人 子宮頸がん検診 受診者数 3,062人 前立腺がん検診 受診者数 1,569人 【集団検診】 胃がん検診 受診者数 1,638人 肺がん検診 受診者数 3,081人	【個別がん検診】 大腸がん検診 受診者数 8,478人 乳がん検診 受診者数 3,355人 子宮頸がん検診 受診者数 3,062人 前立腺がん検診 受診者数 1,569人 【集団検診】 胃がん検診 受診者数 1,638人 肺がん検診 受診者数 3,081人	【個別がん検診】 大腸がん検診 受診者数 8,478人 乳がん検診 受診者数 3,355人 子宮頸がん検診 受診者数 3,062人 前立腺がん検診 受診者数 1,569人 【集団検診】 胃がん検診 受診者数 1,638人 肺がん検診 受診者数 3,081人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	各種がん検診事業は受診者数向上のために、国制度や市独自の受診勧奨などの取り組みを行っている。今後も検診の受診行動につながるような普及啓発も合わせて取り組んでいく必要がある。				
宇治市 健康 生きがい課	一般介護予防事業 ①認知症予防教室 ②脳活性化教室	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるよう、認知症及び介護予防についての正しい知識を普及啓発する教室。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	認知症予防教室 実人数 120人 延べ人数 2,112人 脳活性化教室 延べ人数 6,000人		認知症予防教室 実人数 130人 延べ人数 2,800人 脳活性化教室 延べ人数 7,000人	認知症予防教室 実人数 130人 延べ人数 2,800人 脳活性化教室 延べ人数 7,000人	認知症予防教室 実人数 130人 延べ人数 2,800人 脳活性化教室 延べ人数 7,000人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	認知症予防教室:教室終了後、自主グループが発足するなど、地域で介護予防活動を継続して実施することができている。 脳活性化教室:市内6圏域ごとに月2回開催。予約不要で気軽に参加できることから各会場多数の参加があり、好評を得ている。				
宇治市 健康 生きがい課	骨粗しょう症予防対策事業	2018年度より、20歳以上65歳未満の市民を対象に、骨密度の測定と骨粗しょう症の予防の為の体験学習などを実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。 3回90人		3回 100人	3回 100人	3回 100人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	骨密度の測定により、自身の骨密度を知ると共に生活習慣との関連を知る機会としている。骨粗しょう症予防の生活・食事面での注意や運動実技体験を通し、日常生活の中での行動変容ができるようにする。食事と運動両面の知識を普及させ、家庭で取り組める内容を検討する。				

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 健康 生きがい課	一般介護予防事業 機能訓練事業		高齢者を年齢や心身の状況によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、地域において生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを目指すとともに、対象者が生活機能の改善に向けて知識・技術・意欲の獲得を目指す教室。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	パワリハトレーニング教室 実人数 209人、 延べ人数 3,822人 スロートレーニング教室 実人数 160人、 延べ人数 2,898人 セルフパワリハ 実人数 397人、 延べ人数 11,854人 B型リハビリ教室 実人数 210人、 延べ人数 6,271人		パワリハトレーニング教室 実人数 250人、 延べ人数 3,500人 スロートレーニング教室 実人数 180人、 延べ人数 3,000人 スロートレーニング教室(ミックス) 実人数 80人、 1,500人 セルフパワリハ 実人数 300人、 延べ人数 11,000人 B型リハビリ教室 実人数 220人、 延べ人数 6,500人	パワリハトレーニング教室 実人数 250人、 延べ人数 3,500人 スロートレーニング教室 実人数 180人、 延べ人数 3,000人 スロートレーニング教室(ミックス) 実人数 80人、 1,500人 セルフパワリハ 実人数 300人、 延べ人数 11,000人 B型リハビリ教室 実人数 220人、 延べ人数 6,500人	パワリハトレーニング教室 実人数 250人、 延べ人数 3,500人 スロートレーニング教室 実人数 180人、 延べ人数 3,000人 スロートレーニング教室(ミックス) 実人数 80人、 1,500人 セルフパワリハ 実人数 300人、 延べ人数 11,000人 B型リハビリ教室 実人数 220人、 延べ人数 6,500人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		各々の段階に応じた心身の機能維持、回復を図るための必要な訓練を実施し、日常生活の自立の促進を図ることができた。プログラムの構成の改善及び他事業との連携等、より効果的な事業の実施方法の検討を行う。			
宇治市 健康 生きがい課	食生活改善推進員地区組織の支援		市民の健康づくりや生活習慣予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。 ◎「若葉の会」の活動状況 支援活動回数 45回 参加会員数 383人 ◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 50人		◎「若葉の会」の活動状況 支援活動回数 50回 参加会員数 400人 ◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 50人	◎「若葉の会」の活動状況 支援活動回数 45回 参加会員数 380人 ◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 60人	◎「若葉の会」の活動状況 支援活動回数 50回 参加会員数 400人 ◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 60人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		現在45名の会員で活動中であるが、会員の高齢化や退会による会員数の減少が、活動への大きな影響となり課題となっている。活動会員数増加のため、令和元年度は養成講座を開催しており、20名前後の修了・入会を見込んでいる。新会員の定着化や今後の活動等について、今後も助言等を行い会への活動支援を図る。			
宇治市 年金医療課	人間ドック受診補助金		後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	受診者数 374人		400人	400人	400人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。また、平成29年度に定員数を拡大することで、引き続きより多くの市民を対象に事業の実施に取り組めた。			

宇治市 年金医療課	健康診査事業	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために健康診査を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	健康診査: 7,983人 歯科健診: 16人		健康診査: 8,710人 歯科健診: 40人	健康診査: 9,730人 歯科健診: 30人	健康診査: 10,280人 歯科健診: 30人
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
B		平成29年度からは健康診査に追加して歯科健診も実施し、引き続き幅広く高齢者の疾病の早期発見に取り組めた。今後は、健診及び歯科健診の効果分析並びに、歯科健診の受診者数の増加に向けて、制度周知の強化に努める必要がある。			
宇治市 国民 健康保険課	健康づくり推進事業	心と体の健康づくりができるように、嘱託保健師による保健指導やイベントを実施。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	国保加入者の生活習慣病の予防や指導を行うことにより医療費の抑制を図るため、保健師による健康相談等を実施した。また、糖尿病重症化予防をテーマとし医師を講師に迎えた健康教室を実施した。		国保加入者の生活習慣病の予防や指導を行うことにより医療費の抑制を図るため、保健師による健康相談を随時実施。テーマを設定し健康づくり教室を実施する。	国保加入者の生活習慣病の予防や指導を行うことにより医療費の抑制を図るため、保健師による健康相談を随時実施。テーマを設定し健康づくり教室を実施する。	国保加入者の生活習慣病の予防や指導を行うことにより医療費の抑制を図るため、保健師による健康相談を随時実施。テーマを設定し健康づくり教室を実施する。
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		当初の計画通りに事業を実施することが出来た。引き続き、国制度等をふまえて、さまざまな保健事業を実施していく。			
宇治市 国民 健康保険課	人間ドック・脳ドック受診補助金	35歳以上75歳未満の被保険者を対象に、疾病の早期発見・治療により、健康管理に対する自覚を深めて医療費の適正化を図ることを目的として、半日人間ドック・脳ドックの健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	国保加入者の生活習慣病等の早期発見・治療を図り、健全な保険給付を行うため、人間ドック1,575名、脳ドック740名に対し、総額61,583千円の受診補助を実施した。		人間ドック定員1,700名、脳ドック定員800名	人間ドック定員1,700名、脳ドック定員800名	人間ドック定員1,700名、脳ドック定員800名
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		受診補助を実施することにより、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることが出来た。今後も引き続き受診ニーズの把握に努めながら、事業を実施していく。			
宇治市 国民 健康保険課	特定健診・特定保健指導事業	生活習慣病の予防による医療費削減を目的として、40歳以上75歳未満の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	生活習慣病の予防による医療費削減を目的として、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図るため、(一社)宇治久世医師会に委託し、事業を実施した。特定健診受診件数は9,560件となるとともに、動機付け支援及び積極的支援の対象者とされた者のうち、251名に対し特定保健指導を実施した。		生活習慣病の予防及びメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図るため、特定健診・特定保健指導を実施する。	生活習慣病の予防及びメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図るため、特定健診・特定保健指導を実施する。	生活習慣病の予防及びメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図るため、特定健診・特定保健指導を実施する。
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
B		「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、メタボリックシンドロームに着目した項目での健診を実施し、該当者・予備群の減少に努めた。実施計画や国基準等に基づき、引き続き受診・実施率の向上に努める必要がある。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

(2) 健康でいきいきと暮らしていくために、こころと体の健康づくりを推進します。

具体的な取り組み	3	各種検(健)診事業や予防事業等、健康に関する情報を積極的に広報することにより、より多くの人の事業への参加をめざします。
----------	---	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	介護予防サポートセンターを主体とした各種介護予防事業等の実施と情報提供	認知症予防や運動器機能向上の教室、訪問指導等の事業を計画的に実施すると共に、健康づくりに関する市民啓発を行う。
宇治市福祉サービス公社	健康増進に向けた各種教室や研修の実施	認知症予防や運動器機能向上の教室、訪問指導等の事業を計画的に実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市健康生きがい課	健康教育・健康相談	生活習慣病等の予防及び健康の保持増進について、正しい知識を普及し、健康への自覚を高めることを目的に、教室・相談を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		各種健康講座等を実施し、健康の保持増進、生活習慣病の予防、健康に関する正しい知識を啓発する他、市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、家庭で継続しやすい内容の普及に努めた。 健康教育 132回 4,363人 健康相談 175回 1,164人	健康教育 130回 4,200人 健康相談 160回 900人 合計 290回 5,100人	健康教育 130回 4,200人 健康相談 145回 900人 合計 275回 5,100人	健康教育 130回 4,200人 健康相談 145回 900人 合計 275回 5,100人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	B	各種イベントに出向いたことや、講座PR、参加者の児の保育環境と整えたことにより前年度に比し、普及啓発できた人数は増加した。今後は、講座に参加できない働き世代や無関心層への普及啓発方法について検討していく必要があり、関係部局とも協議を行う。			
宇治市健康生きがい課	健康づくり食育推進計画推進事業	宇治市健康づくり・食育推進計画の目標を達成するため、計画の推進母体である<うー茶ん>連絡会に対して、<うー茶ん>のつどい事業を委託する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		市民の主体的な健康づくりを進めるため、<うー茶ん>連絡会へ啓発事業を委託し、正しい健康情報の提供・健康づくりの知識・技術力を高める学習機会等の整備など、あらゆる機会を通して健康づくり及び食育に視点を置いた事業を、各地域で計10回実施した。	宇治市健康づくり・食育アライアンスを立ち上げ、加入団体同士並びに行政、関係機関と連携し、健康づくり・食育推進事業を実施。加入団体50団体を目標とする。	宇治市健康づくり・食育アライアンスのもと加入団体、行政、関係機関との連携を充実させ、健康づくり・食育推進事業を実施予定。	宇治市健康づくり・食育アライアンスのもと加入団体、行政、関係機関との連携を充実させ、健康づくり・食育推進事業を実施予定。
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	平成30年度までは<うー茶ん>連絡会への委託事業として実施してきた。今後、より一層地域で実施されている自主的な活動や本市施策との連携を充実させていくため、<うー茶ん>連絡会は解散し、新たに宇治市健康づくり・食育アライアンスを立ち上げ、市民の健康保持・増進に努めていく。			

宇治市 健康 生きがい課	健康づくり・食育推進事業	健康づくり推進プランと食育推進計画を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	「宇治市健康づくり・食育推進計画」の基、基本目標「市民とまちが取り組む 健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくり及び食育を推進していくため、9月及び3月に協議・検討を行った。	宇治市健康づくり・食育推進計画の基で年2回実施	宇治市健康づくり・食育推進計画の基で実施	宇治市健康づくり・食育推進計画の基で実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、各委員より本市の健康づくりと食育に対する意見をいただき、各種施策に反映させていくため、今後も引き続き実施する。			
宇治市 健康 生きがい課	在宅医療・介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するため、地域における医療、介護の関係機関の連携体制を構築する。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	・地域の医療・介護の資源の把握(ココカラまるごとブック発刊) ・在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 ・医療・介護関係者の情報提供の支援 ・在宅医療・介護連携に関する相談支援 ・医療・介護関係者の研修 ・地域住民への普及啓発 ・在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携 ・医療介護連携センターの設置	継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	介護と医療の連携について課題がある。介護と医療がお互いを理解し合える体制の構築が必要。情報を共有したうえで課題を把握し、その改善のために検討することが必要。			
宇治市 健康 生きがい課	京都認知症総合センター機能強化事業	京都認知症総合センターが、包括的な医療・介護サービスを提供し、地域資源との連携体制を強化し、認知症に係る初期から看取り期までの課題に対応できる機能を持つモデルを完成させるとともに、認知症の初期支援プログラム等を開発して、他地域への普及を推進する。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	・認知症医療・介護連携の枠組み構築のためのモデル事業 ・本人の活動を重視する認知症カフェ推進事業 ・『認知症の人の声を社会に！』推進事業	継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	一般市民及び医療関係機関、介護関連事業所等にも周知が図られてきており、利用者及受診者は増加傾向。			
宇治市 健康 生きがい課	訪問型短期集中予防サービス	要支援または介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、地域包括支援センター等がケアマネジメントにより作成したケアプランにおいて、本サービスの利用がふさわしいと判断された者を対象に、理学療法士または作業療法士、歯科衛生士、栄養士、保健師などのいずれかが、居宅を訪問して指導を行う。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	訪問実人数 15人 訪問延べ回数 51回	継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	対象者の生活課題に対して適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう、適正に支援した。専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を行う。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 健康 生きがい課	通所型短期集中予防サービス		要支援または介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、地域包括支援センター等がケアマネジメントにより作成したケアプランにおいて、本サービスの利用がふさわしいと判断された者を対象に、個々の心身の状況に応じて通所によるサービスを実施する。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	トータルぶらすコース 実人数 42人 延べ人数 626人		継続実施	継続実施	継続実施	
	◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		通所による生活指導を通じ、対象者の生活課題に対して適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう、適正に支援した。専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を行う。				
宇治市 生涯学習課	スポーツ教室開催事業		市民にスポーツの場を提供し、スポーツ・レクリエーションの実践を通じて市民相互の交流を促進し、健康・体づくりを図るため、各種のスポーツ教室やニュースポーツひろばを開催する。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・レッツニュースポーツは春の部、秋の部と各4回、計8回開催した。種目は3種目で、162名の参加者を得た。 ・ニュースポーツひろばは西宇治体育館、黄檗体育館で29回開催し、1,199名の参加者を得た。 ・各地域の体育振興会にニュースポーツひろば事業を委託し、1,831名の参加者を得た。 		ニュースポーツ ひろば開催	ニュースポーツ ひろば開催	ニュースポーツ ひろば開催	
	◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
B		事業を通してスポーツの場の提供、ニュースポーツの普及に努めた。引き続き参加者数の増加に向けて事業内容を工夫するとともに、参加者の固定化が見られることから、新たな参加者を獲得するなど、事業の充実に向けて検討する必要がある。				

(2) 健康でいきいきと暮らしていくために、こころと体の健康づくりを推進します。

具体的な取り組み	4 高齢者のサークル活動の支援等により、生きがいを推進します。
----------	---------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	市民向け各種講座、支援活動の実施	公社独自の事業として、高齢者の生活知識の拡大や生きがいをづくり、社会貢献・参加を促す事業を実施するとともに、終了後は継続的な活動に繋がるよう支援していく。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	宇治市老人福祉センターサークル協議会運営支援	宇治市総合福祉会館を拠点に活動する各種高齢者サークルの協議会(USK)の運営支援を行い、各高齢者サークルの発展とともに、サークル間の連携強化を図っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市健康生きがい課	高齢者活動事業	高齢者が生きがいをもって社会参加できるよう、高齢社会及び健康についての啓発をはじめ、老人福祉センターサークル協議会・連合喜老会の活動を支援する補助金を交付する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		・老人クラブ活動促進特別事業補助金 850,000円 ・老人福祉センター等交流事業補助金 115,260円 ・老人福祉センターサークル活動発表大会事業補助 300,000円 ・宇治市敬老月間事業 32,355円	実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
	評価	B			概ね計画どおりであるが、市全体として補助金の見直しを行う中で、補助内容や助成額については継続して検討を行う。
宇治市健康生きがい課	老人クラブ助成金	高齢者の生きがいをづくりと社会参加を促進するため、老人クラブの活動に対して助成を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		・老人クラブ活動事業費補助金 3,946,120円 ・老人クラブ社会見学事業費補助金 381,885円 ・連合喜老会活動事業運営補助金 1,150,000円	実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
	評価	B			概ね計画どおりであるが、市全体として補助金の見直しを行う中で、補助内容や助成額については継続して検討を行う。

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

大項目	(3) 災害時の被害を最小限にとどめる取り組みや生活環境のバリアフリー化を推進します。
具体的な取り組み	5 防災情報の発信や災害ボランティアセンターへの支援等、災害時に備えた取り組みを積極的に推進します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	災害時体制の宇治市災害ボランティアセンターへの協力 (笠取第二除く)	災害時の災害ボランティアセンターへ構成団体として協力を図る。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	宇治市総合防災訓練への参加	市総合防災訓練と連携し、展示や啓発を行う。
宇治市社会福祉協議会 (宇治市災害ボランティアセンター)	宇治市災害ボランティアセンターの常設運営	災害時における被災者支援活動及び、災害がない日頃からも「災害に強いまちづくり」を目指して、宇治市民とともに災害ボランティアの啓発や訓練を行う常設型の災害ボランティアセンターの運営を行っている。いざという時に備え、「共助」の精神で顔の見える関係づくりを進めている。
宇治市社会福祉協議会	他市町村の豪雨災害等での災害ボランティアセンター支援活動	東北、和歌山、府内北部、熊本、大阪北部、岡山等、様々な地域の災害ボランティアセンター支援を行ってきたことは、宇治市での災害ボランティアセンター運営の大きな礎となっている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 危機管理室	防災対策推進事業	宇治市地域防災計画に基づき、防災訓練の実施や防災設備の拡充、自主防災組織の育成、養成した防災リーダーのフォローアップなどを行う。また、平成28年度より宇治市自主防災活動事業補助金及び宇治市地域防災力向上事業補助金を統合し、宇治市自主防災組織育成事業補助金を創設し、取り組みの推進を図る中で地域防災力の向上を図る。			
		◆成果・実績及び見込み			
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		<ul style="list-style-type: none"> マニュアル作成率は73.1% 養成した防災リーダーについて、フォローアップ研修を2回実施 新たに自主防災リーダーを養成 宇治市自主防災組織育成事業補助金を32団体に交付 	<ul style="list-style-type: none"> 宇治市防災訓練を9月8日、小倉小学校で実施 マニュアル作成率75% 養成した防災リーダーについて、フォローアップ研修を実施 新たに防災リーダーを養成 宇治市自主防災組織育成事業補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> 宇治市防災訓練の実施 防災リーダーフォローアップ研修 宇治市自主防災組織育成事業補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> 宇治市防災訓練の実施 防災リーダーフォローアップ研修 宇治市自主防災組織育成事業補助金の交付
◆2018年度(平成30年度)の評価		評価に対する説明			
評価					
B	自主防災組織率が上昇し、新たな地域の防災力向上を図ることができたものの、町内会が結成されていない地域での防災力向上ができていないため、根本的な手立てが必要である。				

宇治市 危機管理室	防災出前講座	町内会・自治会が実施する防災講演会に講師として職員を派遣するほか、地域の防災訓練に対する助言等を行い、地域防災力の向上に努める。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	各町内会・自治会等への出前講座や地域の防災訓練に職員が積極的に参加し、防災に関する啓発を行った。 30年度実績: 74回		80回	80回	80回
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	多くの町内会やその他団体に向け、防災出前講座を実施することができたが、地域間で防災意識の温度差がある状況であるため、更なる啓発が必要である。				
宇治市 危機管理室	京都府防災・防犯情報メールの配信事業	配信希望者に対し台風接近時の避難所開設情報や宇治市防災訓練の実施案内を配信し、市民の安全・安心の推進を図る。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	防災・安心情報の配信を継続して実施。		防災・安心情報の配信を継続して実施。	防災・安心情報の配信を継続して実施。	防災・安心情報の配信を継続して実施。
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	台風接近時における、避難に関する情報や、各種の防災情報、通行規制情報などを積極的に発信することができた。				
宇治市 公園緑地課	黄檗公園再整備事業	黄檗公園の施設改修を進めるとともに、災害時における防災拠点・広域避難地機能を兼ね備えた都市公園として、再整備を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	避難所として位置付けている体育館において、災害発生時にもトイレが利用できるよう汚水貯留槽の設置を行い、防災機能の向上を図った。		体育館空調設置、野球場グラウンド改修工事予定	体育館空調設置、野球場グラウンド改修工事予定	園地改修工事予定
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	市の財政見通し等を考慮しながらの計画実施が必要となっている。				
宇治市 指揮指令課	要配慮者情報管理事業	火災などの災害が発生したとき、自力での避難が困難な方の安全確保をすみやかにするため、登録申請をしてもらう。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	平成18年3月1日から本事業を開始し、平成29年度から消防本部の要配慮者情報登録申請書と危機管理室の避難行動要支援者登録申請書を統一化する。また、平成29年3月までに危機管理室の避難行動要支援者に登録されている方の名簿も提供され、順次消防指令システムへ入力を行っている。高齢者の方を始め、ハンデキャップのある方など自力避難が困難な56名の方の申請を受理し、延べ6,121名を消防指令システムに消防活動の支援情報として順次登録し、火災救急事案において活用している。		避難行動要支援者を消防指令システムに順次登録し、火災救急事案等において活用している。	市民広報を実施	市民広報を実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	30年度末において延べ6,121名の申請を受理し、順次高機能指令システムに登録し活用している。今後も火災や救急事案において重要な要配慮者支援情報として活用できることから、積極的に登録事業を進めていく。				

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

(3) 災害時の被害を最小限にとどめる取り組みや生活環境のバリアフリー化を推進します。

具体的な取り組み	6 災害時の被害を最小限にとどめるために、河川等の改修・整備や建築物の耐震改修助成等の取り組みを推進します。
----------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 雨水対策課	河川改修事業	都市化の進行に伴う保水機能の低下、雨水流出量の増大等流域の変化と護岸等の老朽化に対応し、水害防止と安全快適な都市基盤の整備を図るため、市民の日常生活に関連した河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については、重点整備を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	工事(戦川)		工事(志津川)	工事(谷山川)	工事(戦川ほか)
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	河川の機能増強を図り、浸水被害を軽減するため、河川の護岸工事を実施した。				
宇治市 雨水対策課	排水路改良事業	都市化の進行に伴う保水機能の低下や、近年多発している局地的豪雨による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防止と安全快適な都市基盤の整備を図るため、雨水施設整備計画との整合を図り排水路の改良工事を実施する。また、老朽化施設については、補強、改築等の更新を行っていく。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	工事(宇治7号排水路、小倉2号排水路改良工事ほか)		工事 (宇治7号排水路ほか)	工事 (半白調整池ほか)	工事 (宇治7号排水路ほか)
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	排水路の流下能力の向上を図るため、排水路の改良工事を実施した。				

宇治市 雨水対策課	公共下水道(雨水)整備事業		年々激化する局地的豪雨による浸水被害の軽減を図るため、宇治市における広域的な雨水都市基盤整備事業として、公共下水道雨水施設整備計画に基づき、排水路改良や地下貯留施設の整備等公共下水道(雨水)整備事業の実施・拡大に向けて、効率的且つ効果的な整備に取り組んでいく。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	工事 ・貯留施設 (伊勢田小) (老ノ木地区) ・排水路 (小倉1号系統排水路)工事		工事 ・貯留施設 (老ノ木地区) (目川地区) ・排水路 (伊勢田10号排水路)	工事 ・貯留施設 (目川地区) (堀池地区)	工事 ・貯留施設 (堀池地区) (西川原地区)
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		局地的豪雨の発生等による浸水対策として公共下水道(雨水)整備事業により、雨水貯留施設などの整備工事を行った。また、引き続き、雨水貯留施設の整備や排水路改良等を計画的に取り組んでいく。			
宇治市 建築指導課	耐震診断・耐震改修推進事業		「宇治市建築物耐震改修促進計画」の目標達成にむけ、耐震診断・耐震改修助成を行っている。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	12月2日に南小倉小学校で行われた防災訓練ほか、各地域の防災訓練に参加し、「耐震診断相談コーナー」の設置及び自治会の防災出前講座でのPR等の啓発活動を行い、木造住宅耐震診断119件、同耐震改修54件(内簡易改修29件)の助成を行った。		各所の防災訓練に参加、啓発活動実施。木造住宅耐震診断36件、同耐震改修29件、同簡易改修19件の助成を行った。(R01.8末現在見込) 耐震改修促進計画を改定、平成37年度末95%を目標に耐震改修助成を実施。	各所の防災訓練に参加、啓発活動を行う。木造住宅耐震診断、同耐震改修、同簡易改修、耐震シェルター設置への助成を予定。	継続予定
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		平成27年度末、耐震化率90%を目標に耐震改修助成を行ってきたが86.1%の結果。平成28年度、耐震改修促進計画を改定し、平成37年度末95%以上を目標に耐震改修助成を実施。計画の「減災化」の考えに基づき、耐震シェルター設置への助成制度も実施。平成30年度より耐震改修及び簡易改修の補助額を引上げ。目標達成には厳しい状況ではあるが、引き続き啓発活動を行い、耐震化の促進に努める。			
宇治市 建築指導課	ブロック塀等緊急安全対策支援事業		地震時のブロック塀等の倒壊による危険を防止し、地震に強いまちづくりを推進するため、緊急的に行う道路等に面したブロック塀等の撤去工事等に対して補助金を交付している。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	平成30年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震をきっかけに、平成30年11月から事業を実施。道路等に面したブロック塀等の撤去工事に対して、42件(内、撤去後の特例申請21件)の補助金交付を行った。		避難路に面したブロック塀等の耐震診断等に対しても支援事業を開始。避難路沿い0件、道路沿い31件の助成を行った。(R01.8末現在見込)道路沿いについては、令和元年度末まで。	避難路に面したブロック塀等の耐震診断等に対する支援事業を継続実施予定。令和2年度末まで。	
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		ブロック塀等の安全性が改めて社会問題化する中で、多くの方に事業を活用していただき、市内の安全性が確認できないブロック塀等の撤去が促進された。今後も十分な周知活動を行い、事業の期限を定め、期限内の早急な対応検討を促していく。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

(3) 災害時の被害を最小限にとどめる取り組みや生活環境のバリアフリー化を推進します。

具体的な取り組み	7	すべての人が安全に安心して利用できるように、公共施設や道路等の計画的なバリアフリー化やユニバーサルデザインの普及を促進します。
----------	---	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 道路建設課	交通安全施設整備事業	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール、カーブミラー、歩道の設置、段差切下等を実施。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。平成30年度は蓮池地区における安全対策事業及び市内全域において安全施設の設置を実施した。また、1路線の測量・設計等の委託業務を実施した。◎安全施設設置 道路反射鏡19基 防護柵設置 83m 区画線設置 3,895m ◎安全対策事業 蓮池地区(ゾーン30) ◎測量・設計 宇治五ヶ庄線		継続実施見込	継続実施見込	継続実施見込
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	平成27年度に策定した宇治市通学路交通安全プログラムに基づき、児童のみでなく歩行者等の安全確保に向け、着実かつ効果的な取り組みを進めている。また、高齢者、身体障害者への対応としてバリアフリー化の推進が強く求められており、歩道の段差解消等の整備などを令和元年度も継続実施する。				
宇治市 公園緑地課	公園バリアフリー整備事業	都市公園におけるバリアフリー化基準等に基づく公園施設のバリアフリー化及び遊具の更新を行い、公園利用者の利便性・安全性を向上させる。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	安全で安心した利用できる公園とするため、12公園での遊具の更新を行った。		遊具更新工事予定	継続実施見込	継続実施見込
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	市の財政見通し等を考慮しながらの計画実施が必要となっている。				

宇治市 交通政策課	交通バリアフリー推進事業		鉄道駅構内および鉄道駅からみんなが集まる場所までの経路に関して、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、全体構想ならびに地域を特定し具体的な整備計画を示した基本構想を策定し、バリアフリー化を推進する。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	宇治市交通バリアフリー全体基本構想改訂版に基づき、JR木幡駅のバリアフリー化工事を完了、近鉄伊勢田駅のバリアフリー化工事を実施した。		近鉄伊勢田駅のバリアフリー化工事実施。	近鉄伊勢田駅のバリアフリー化工事完了。 策定した基本構想に基づいたバリアフリー化事業の実施。	策定した基本構想に基づいたバリアフリー化事業の実施。
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	今後は策定した基本構想に基づき、どのようにバリアフリー化を実現していくか、具体的な検討を行っていく予定としている。				
宇治市 学校管理課	小・中学校学校施設整備・大規模改造事業		第2次学校施設整備計画に基づく施設整備を順次行う。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	菟道第二小 多目的トイレ設置 神明小 ワイドブーストイレ設置(多目的トイレ設置済) 槇島中 多目的トイレ設置		西大久保小 ワイドブーストイレ設置(多目的トイレ設置済) 平盛小 多目的トイレ設置 広野中 多目的トイレ設置	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	事業を順調に実施している。				

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

大項目	(4) 地域による防犯・防災の取り組みを支援します。		
具体的な取り組み	8	地域における防犯・防災のネットワークづくりのきっかけとなる、民生児童委員や学区福祉委員等による一人暮らし高齢者訪問活動、子どもや障害者の見守り活動等の拡充を支援します。	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	高齢者見守りマップの作成 (宇治)	宇治学区内をブロックに分け、一人暮らし高齢者等の情報をマップ上に記録し、担当者エリアごとに更新する。
学区福祉委員会	こどもの見守り活動の実施 (菟道第二・小倉)	学校の安全連絡会に協力し、子ども達の登下校時の見守り活動を実施する。
学区福祉委員会	災害対策検討委員会の開催 (岡屋)	災害時における見守り強化のため、委員会組織をつくり、災害時の安否確認の方法などについて検討をする。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市総務課	安全・安心まちづくり推進事業	宇治市安全・安心まちづくり条例に基づき施策を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	年2回の市民安全・安心推進旬間では、7月に「街頭啓発」を実施、12月に「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催。10月には「防犯講演会」を開催。各小学校区に組織されている防犯推進組織に補助金を交付し自主的な活動を支援。		講演会等2回実施 補助金の交付	講演会等2回実施 予定 補助金の交付	講演会等2回実施 予定 補助金の交付
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	年2回の市民安全・安心推進旬間にあわせた取組みでは、防犯意識の高揚を図ることができた一方で、行政は防犯推進組織に団体間の連携や、児童・生徒から高齢者、女性、障害のある人など幅広い地域の防犯活動を期待するが、主に子どもを対象とした小学校単位での活動が多くなっているのが実情である。				
宇治市子ども福祉課	育成学級緊急安全対策事業	安全・安心な学級運営の確立を図るため、三季休暇や土曜日において各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	校内への不審者の侵入を防ぐため、安全対策支援員等を配置し、育成学級周辺や運動場等校内の巡回と来校者の確認などを行い、三季休暇や土曜日における各育成学級入級児童の安全確保を図った。		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	事業を順調に行っている。				

宇治市 保育支援課	保育所等緊急安全対策事業		安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所(園)・民間認定こども園での保育所等安全運営支援員の配置やブロック塀の安全対策に対し補助を行う。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	○公立保育所 保育所安全運営支援員を配置(実施園数:7園) 8,634,175円 ○民間保育所(園)・認定こども園 保育所等安全運営支援員の配置に対する補助 (実施園数:19園 ※分園を含めると21園) 24,624,600円 ブロック塀の撤去・代替施設の設置等の安全対策 2,085,000円		<実施見込園数> ○公立保育所:7園 ○民間保育所(園):6園 ○民間認定こども園:15園 (分園2園含む)	今後のあり方について検討	今後のあり方について検討
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		事業を順調に行っている。			
宇治市 健康 生きがい課	一人暮らし高齢者火災警報器 給付事業		火災等による被害から高齢者を守り、安全確保を図るため、火災警報器を給付する。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	給付件数 18件		実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		ニーズが明確であり、高齢者の生活上の安全確保に大きく寄与していることから、今後も事業を継続する。			
宇治市 教育総務課	地域緊急安全対策事業		小・中学校、幼稚園の安全管理対策の強化を図る。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	小・中学校・幼稚園に、1日ひとり当たり4時間以上、午前・午後各1名の計2名体制でスクールサポーターを配置し、防犯カメラのモニター監視や校内巡視、校門の安全管理などの活動を行った。安全安心な学校・園の確立という面だけでなく子どもたちとのつながり、地域と学校のパイプ役といった効果も見られた。また、新任のスクールサポーターには不審者対応マニュアルを配布した。		安全安心な学校・園の確立に向けた取組の一つとして、継続実施とする。昨年度に引き続き、各校・園は、活動予定表を作成し、活動実態の把握・分析に努める。	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		小・中学校、幼稚園の安全確保を図ることができた。令和元年度は継続実施しているが、高齢化や人材確保・育成等が課題であり、安全安心な学校・園の確立に向けては、他の地域安全活動との連携や、ハード・ソフト面の方策の検討も含めて安全確保に努める。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 学校教育課	幼稚園緊急安全対策事業		私立幼稚園の安全管理対策の強化を図る。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行う(3園)とともに、ブロック塀の撤去などに要する経費を助成(1園)した。		申請のあった6園に対して補助を実施	申請のある園に対して実施	申請のある園に対して実施	
	◆2018年度(平成30年度)の評価					
	評価	評価に対する説明				
A	事業を順調に実施している。					

(4) 地域による防犯・防災の取り組みを支援します。

具体的な取り組み	9	避難行動要支援者支援事業に基づき、災害時に自力での避難が困難な人(避難行動要支援者)の情報を本人の同意を得たうえで町内会・自治会等と共有し、いざというときに助け合える体制の整備を推進します。
----------	---	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 危機管理室	災害時における避難行動要支援者支援事業	避難行動要支援者リストの作成にもとづき、要支援者への緊急情報の伝達や避難誘導支援などについて関係機関の協力を得て、実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		モデル地区の成果をもとに、マニュアル化し、モデル地区以外の地域へ呼びかけを行った。	モデル地区以外の他の地域へ事業を拡大していく。	モデル地区以外の他の地域へ事業を拡大していく。	モデル地区以外の他の地域へ事業を拡大していく。
		◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明		
	評価	A			
		モデル地区の成果をもとに、マニュアル化し、モデル地区以外の地域へ呼びかけを行うことができた。			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

柱	2. 地域福祉活動への住民参画の推進 人材の発掘・育成や支え合いのしくみづくり、地域での活動拠点の整備を進めます。
---	---

大項目	(1) 地域福祉活動への参加意欲を持っている人が、気軽に活動に参加できるきっかけづくりを支援します。
具体的な取り組み	10 学区福祉委員会によるバザーや、市社協の福祉まつり等のイベントが地域福祉活動への参加のきっかけになるよう、広報の工夫や継続的に参加してもらえようとする取り組みを支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	福祉バザーの開催 (南部・菟道・神明・大久保・小倉・西小倉地区社協)	誰もが気軽に参加できるバザーなどに取り組み、活動財源の確保を図る一方で、地域住民との交流をより一層活性化する。各学区福祉委員会により、小学校の体育館や地元の公共施設等に開催する。
学区福祉委員会	研修会の実施 (各学区)	学区福祉委員の内部研修や住民向け研修、講座の実施。
学区福祉委員会	広報紙作成研修会活動の実施 (伊勢田)	広報紙作成ノウハウの習得を目的とした福祉研修会に力を入れ、読みやすく、わかりやすい紙面作り、住民参画を促進する。
学区福祉委員会	住民交流活動の実施 (各学区)	学区内の各種団体と連携して夏まつり等のイベントを開催し、世代間交流活動を実施している。
学区福祉委員会	広野ふれあいまつりの開催 (大久保)	大久保学区内の全住民を対象に、誰もが気軽に参加できる場作りとして地域イベントを開催する。
学区福祉委員会	西小倉地区福祉まつりの開催 (西小倉地区社協)	学区福祉委員会活動の広報や地域活動への啓発を行い、学区福祉委員の発掘に繋げるため、地区福祉まつりを開催する。
学区福祉委員会	福祉委員の募集強化月間について	福祉委員の担い手の増加を目指して、行政に協力を得て市政だよりに掲載を頂く。また、各福祉委員会での独自のチラシを用いてロコミでも福祉委員の募集を行う。
学区福祉委員会	菟道第二学区福祉委員会 ビジョンH30の作成 (菟道第二)	次世代へ活動をひきつぐためのビジョンづくりを展開する。
学区福祉委員会	榎まつりの開催 (榎島)	地域で福祉委員会についての啓発になるように、地域のサロン等の団体や、施設等を巻き込んでお祭りを開催する。
学区福祉委員会	福祉サポーターの呼びかけ (菟道第二)	学区福祉委員の募集を行う一方、できるときにできること(特技)をテーマに、福祉協力サポーターの呼びかけを行う。
学区福祉委員会	北榎グランドゴルフの開催 (北榎島)	体育振興会との協働により実施。一般参加者が学区福祉委員と出会うきっかけづくりとなっている。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域に根ざす拠点としての、地域福祉センターの活用の推進	公社が指定管理する地域福祉センターを拠点に「地域福祉のつどい」や「コミュニティカフェ」等の事業を実施し、地域との情報共有や交流を深める取り組みを行い、地域福祉センターの機能の周知を図る。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 生涯学習課	障害者教室開催事業	障害者の自立と社会参加を目指し、障害に応じた学習機会を設定するとともに、ボランティアとの交流・相互理解を図る。			
		◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	障害の種類に応じた講座(心身3回、肢体1回、視覚2回、聴覚4回)を開催し、延べ237人の参加があった。	障害の種類に合わせた講座を実施する。	障害の有無、種別によらず誰もが参加できる講座を開催する。	障害の有無、種別によらず誰もが参加できる講座を開催する。	
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
B	障害者団体やボランティアと連携した教室の開催により、障害者の学習機会の提供と仲間づくりを促進できた。しかし、参加人数が減少傾向にあり、また参加者の固定化・高齢化が課題であり、新たな参加者を増やすためには、事業のあり方や運営方法を検討し、事業のさらなる充実に向け、改善を図る必要がある。				
宇治市 生涯学習課	障害者スポーツ大会の開催	障害者の体力維持等を図るとともに社会参加を促進し、障害者に対する正しい理解と認識を深め、広めることを目的として、様々な障害者団体・施設等が実行委員会形式で実施。広く大会スタッフ(ボランティア)を募集し、大会運営のサポートと障害者との交流を行っている。			
		◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	西宇治体育館で実施。606名の参加者を得た。	障害者 スポーツ大会 開催	障害者 スポーツ大会 開催	障害者 スポーツ大会 開催	
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
A	障害者の方々が広くスポーツに親しむことができた。また、市内の大学生、高校生をはじめとしたボランティアと参加者の交流や、市内企業等の協賛も得て、事業目的に沿った運営を行っている。				

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

(1) 地域福祉活動への参加意欲を持っている人が、気軽に活動に参加できるきっかけづくりを支援します。

具体的な取り組み	11 団塊の世代をはじめ、知識や経験を持った人を活動へとコーディネートするしくみを構築します。
----------	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	ボランティアマッチングサロン	ボランティア活動をしたい人とボランティア活動をしてもらいたい方(施設・団体)をつなぐ目的で開催。活動センターのボランティアコーディネート機能向上もねらっている。
宇治ボランティア活動センター	ボランティアの発掘	セカンドライフ講座や様々な市民交流の機会に参加するなどし、新たに「共助」「協働」の街づくりの推進に取り組んでもらえるボランティアの発掘を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	通所介護施設における体験実習やボランティアの受け入れ 介護予防事業におけるボランティアの受け入れ ほほえみ介護塾、各種市民向け研修の開催	介護職員初任者研修「ほほえみ介護塾」の開催により、資格取得、就労への援助を行う。また、公社介護実習室の活用により、市内介護保険事業所で働く専門職の資質の向上に向けた研修のほか、福祉活動に関心のある市民に対して各種の講座を企画・開催する。 公社・学習センター・ボランティア活動センターとの共催で、退職後或いは退職を控えセカンドライフの過ごし方について考えている人を対象に相談・交流会を開催する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	第3次宇治市地域福祉活動計画 うじピョンの“いいね”アクションプランの推進	第3次地域福祉活動計画策定の理念・目標に基づき、地域福祉活動やテーマ型ボランティア活動、当事者団体、福祉施設、NPOなどとの情報交換等を通じて、今後の福祉活動にかかわる担い手・参画者づくりにつなげていく。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市健康生きがい課	宇治市シルバー人材センター運営助成	定年退職後において雇用関係のない就業を通じて労働能力を活用し、生きがいの充実等を希望する60歳以上の高齢者に、地域社会の日常生活に関連した補助的、短期的な仕事を提供するための高齢者の自主的な団体である、公益社団法人宇治市シルバー人材センターの運営に助成を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	宇治市シルバー人材センターの運営補助金について、適正に執行し、高齢者の生きがい増進や就労の促進を図ることができた。 シルバー人材センター運営補助金 6,869,000円		実施	実施	実施
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。また、運営補助金等の確保については国へ要望する。			
宇治市生涯学習課	人材バンク事業	生涯学習活動の活性化を図るため、市ホームページ上及び冊子版で知識・経験・技能を持った個人・グループの情報を提供するとともに、登録講師の指導力向上と人材バンクの周知を目的として市民講師学習講座を開催する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	市HPと冊子版(市内公共施設に設置)による管理・運営・広報のほか、研修会を開催した。		・市HP、冊子版による運営・広報 ・交流会の開催	・市HP、冊子版による運営・広報 ・交流会の開催	・市HP、冊子版による運営・広報 ・交流会の開催
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
B		登録講師を対象に意識向上のための研修会を開催して、一定の成果を得た。事業を広く市民に周知してもらうための広報を行い、登録講師の積極的な活動を促していく。			

宇治市 生涯学習 センター	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)事業		生涯学習に取り組んでいる市民の日常活動の発表と交流を図るとともに、市民の生涯学習への意欲を高め、学習活動への参加を促進することを目的に、実行委員会を組織して開催する。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	生涯学習活動に取り組む人の成果発表及び市民間の交流、また、これから何かを始めたい人のきっかけづくりの場として、実行委員会形式により開催し、41団体・個人が出展等を行い、延べ約1,500人が参加した。		実施	実施	実施	
	◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価	評価に対する説明					
A	市民主体で生涯学習の発表の場を設け、学習意欲の向上と市民相互の交流を進めることができた。今後もさらに出展者同士、また来場者との交流を進め、生涯学習の発展を目差す。					

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

大項目	(2) 地域での世代間交流や学校での福祉体験学習等を通じて、「向こう三軒両隣」で支え合う福祉文化を育む取り組みを推進します。
具体的な取り組み	12 日ごろの声かけやあいさつによるご近所とのつながりや世代間交流、ボランティア活動の意義を積極的に広報・啓発する取り組みを推進します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	小学生や中学生との交流 (各学区)	農業指導や伝承あそびの指導や、高齢者へのふれあい年賀状、暑中見舞の作成、こども料理教室、小学校カーニバル、しめ縄づくり、あそびんぐ
学区福祉委員会	左義長等の交流会の開催 (笠取・笠取第二・岡屋・南部・小倉・槇島)	学校と協力した左義長や手作りコーナーの開催による三世代交流を行う。 ・左義長…岡屋、南部、小倉、槇島 ・三世代交流…笠取、笠取第二
学区福祉委員会	三世代交流「夏まつり」の開催 (笠取第二)	小学校を拠点に学区内全住民のふれあいや世代間交流を目的に夏まつりを開催する。
学区福祉委員会	学校農園による子どもたちへの農業指導 (南部)	学校内の農園や近隣の畑などで、子どもたち自身による稲、芋などを育てる体験学習を行う。
学区福祉委員会	施設との交流 (伊勢田)	一人暮らし高齢者の会食会や新年お楽しみ会を実施する際に、学区内のグループホーム「ナイスライフいせだ」「なごみの里 伊勢田」の利用者にも参加を呼びかけ、交流を深める。
学区福祉委員会	町内会への防災意識アンケートの実施 (南部)	平成24年の京都府南部豪雨災害において、被害の大きかった校区内の町内会に協力をもらい、防災アンケートを戸別に配布し、今後のアンケートを得る。
学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への年賀状等による交流事業 (宇治・岡屋・南部・菟道・菟道第二・神明・大久保・西大久保)	小学生が地域の一人暮らし高齢者等に暑中見舞や年賀状を出すことで、地域の高齢者と子どもたちの心の交流を促す。
学区福祉委員会	子どもの居場所づくり事業への協力 (御藏山・神明・大開)	育成学級の土曜日開催の変わりである、子どもの居場所づくり事業への参加、協力。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	通所介護での世代間交流イベントの実施	通所介護の利用者(高齢者)と保育園児や小学生の課外活動交流、高校生の福祉ボランティアの受け入れ等、世代間の交流を図るイベントを実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	—	—	—	—	
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	—	—			

(2) 地域での世代間交流や学校での福祉体験学習等を通じて、「向こう三軒両隣」で支え合う福祉文化を育む取り組みを推進します。

具体的な取り組み	13	学校教育における福祉体験学習や、学区福祉委員会と連携した地域福祉活動を行う等、学校・地域・家庭が連携しながら、より実践的な福祉教育を推進します。また、市社協と協働しながら大学生等の地域交流活動を支援します。
----------	----	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	介護体験の受け入れ	介護・福祉の国家資格や教員免許取得のための実習生の受け入れ並びに福祉教育の一環としての世代間交流、職場体験として小・中学生の受け入れを行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	ボランティア講師の調整	学校や企業などからのボランティアや当事者団体による講演や学習依頼を受け、講師調整やプログラム作りを行っている。
宇治市社会福祉協議会	中学生と赤ちゃんのふれあい交流 (東宇治中学校、宇治中学校、南宇治中学校、黄檗中学校)	市内4つの中学校の授業で、3年生を対象に赤ちゃんとの交流を行う。母親から子育ての嬉しさや苦勞を聞き、自身への振りかえりや命の大切さ、将来のイメージを育てる。また母親にとっても今の中学生と接することで、子どもの将来のイメージを広げることや、地域活動へ参加をしてもらう足がかりとなっている。また、その際、携わっている民生児童委員や育友会員、子育てに関わるNPOと乳幼児を子育て中の母親が話す機会を設けている。
宇治市社会福祉協議会	西小倉地区社協と城南菱創高校・市社協の連携による高齢者への訪問活動	夏の一日、高校生が学区福祉委員と一緒に高齢者宅を見守り訪問することで、高齢者の笑顔や福祉委員の日頃の活動を知るきっかけとして実施し、ボランティア活動の大切さを育てている。
宇治市社会福祉協議会	京大文芸大学との連携によるボランティア活動の促進	京大文芸大学の「ボランティア演習」科目の業務委託を受け、施設や当事者団体に実習として、大学生を受け入れてもらいながら、大学生のボランティア活動のきっかけづくりを行っている。大学生が学内にとどまらない活動に参加することが目的で、演習終了後も継続してボランティア活動を続ける学生もいる。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市学校教育課	小・中学校「総合的な学習の時間」推進事業	学習指導要領の柱のひとつである「総合的な学習の時間」の実施に当たり、各学校の創意工夫による教材開発や地域の人材・資源を活用した多様な教育活動を支援する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		各学校で国際(異文化)理解学習やキャリア学習等において、社会人講師による授業を実施した。	地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開	地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開	地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	事業を順調に実施している。			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

(2) 地域での世代間交流や学校での福祉体験学習等を通じて、「向こう三軒両隣」で支え合う福祉文化を育む取り組みを推進します。

具体的な取り組み	14 地域で支え合うしくみとして、ボランティア切符やエコマネー等の取り組みを推進します。
----------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	御蔵山ゆう輪蔵ぶ「ありがとう切符(蔵)」への支援 (御蔵山)	ありがとう切符「蔵」を介した、会員同士が自分のできることで支え合える、地域助け合い活動を支援する。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		—	—	—	—
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
		評価	評価に対する説明		
	—	—			

大項目	(3) ボランティアの育成や活動を支援します。
具体的な取り組み	15 市社協や福祉サービス公社、ボランティア活動センター等と連携し、ボランティア・NPOの育成や活動を支援します。

＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	宇治ボランティア活動センター運営委員研修の開催	運営委員が活動センターでの役割を再認識したり、様々な場面でのボランティアコーディネート機能を発揮したりできるように研修会を実施。また、ボランティアによる助け合い、支え合い活動に関する協議と研修会を実施している。
宇治ボランティア活動センター	ボランティア(登録)団体への活動費等の助成と機材貸出し	ボランティア活動センター登録団体へ備品・活動費の助成を行ったり、機材の貸し出しを行ったりして団体活動の支援を行っている。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	高齢期支援システムとしての生涯学習(生きがいづくり)の企画実施	公社独自の「輝き支援事業」として、高齢期の生涯学習、生きがいづくり事業等の企画、実施を行う。
宇治市福祉サービス公社	福祉人材研修事業の受託や介護員養成講座(介護職員初任者研修課程)の実施	市内の介護保険事業所従事者、介護支援専門員等の資質の向上を図るため、宇治市とともに各種の研修を企画・実施する。
宇治市福祉サービス公社	福祉事業者・介護支援専門員向け研修の実施	
宇治市福祉サービス公社	地域支援活動等を目的としたNPO法人等の立ち上げ支援	地域で福祉活動に取り組んでいる団体への支援のため、「地域力助成事業」として (1)新規立ち上げ団体の助成 (2)既存団体の定着応援助成を行い、福祉に取組む「地域力」の増大に寄与する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	ボランティア保険の取り扱い	様々な地域福祉活動の実施者・団体に対し、ボランティア保険等の理解と適切な加入により、安心して、地域活動に取り組めるよう支援している。
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会視察研修の調整	先進事例や他団体との連携の方法を学び、学区福祉委員会活動の発展とより一層の福祉委員拡充のため、各学区福祉委員会による視察研修の調整を行っている。
宇治市社会福祉協議会	宇治市学区福祉委員会連絡協議会への支援	地域福祉推進の重要な担い手である学区福祉委員会の相互連携の促進と、様々な活動を推進していくために組織化された連絡協議会を支援している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市障害福祉課	手話奉仕員養成講座開設事業	聴覚障害者の情報保障及びコミュニケーション支援に資する手話奉仕員を養成するため、手話奉仕員養成講座を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	入門・基礎講座を開講し、延べ29名の受講があった。	入門・基礎講座を開講	入門・基礎講座を開講	入門・基礎講座を開講	
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
評価	A 今後も継続して開講していきたい。				

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

宇治市 健康 生きがい課	認知症地域支援事業 ①認知症あんしんサポーター養成講座 ②キャラバン・メイト養成講座	認知症高齢者とその家族を支援するために、認知症の正しい理解の普及・啓発のための講座を行う。その講座の講師であるキャラバン・メイトに対してフォローアップ講座を年2回実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 1,781人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 50人		認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 2,000人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 40人	認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 2,000人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 40人	認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 2,000人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 40人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	認知症あんしんサポーター養成講座を継続することで、認知症について正しく理解する人は増えている。毎年キャラバン・メイトのフォローアップを行い、サポーターの資質向上を図っている。				
宇治市 公園緑地課	まちかどふれあい花だん推進事業	道路敷等の公的空間を花壇として町内会や喜老会等のボランティア団体に開放、花苗や肥料の提供を通じて地域活動の支援と緑化を推進する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	町内会、喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理(54箇所)に必要な花苗・肥料等の支給を行った。		実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	メンバーの高齢化等を理由に花壇管理を辞退する団体があり、持続可能な体制作りが課題である。				
宇治市 公園緑地課	みどりのボランティア推進事業	市民参加による緑化推進を図るため、みどりのボランティアを養成し、活動を支援する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	植物公園、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関の花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、ハーブ園管理、イベント協力などの活動を行った。ボランティア登録数は30年度末時点で65人。		実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	順調に事業実施できているが、ボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する必要がある。				
宇治市 学校教育課	図書館ボランティア養成事業	学校図書館の充実を図るため、各校の図書館ボランティアの育成・協力を努める。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催した。		実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	事業を順調に実施している。				

(3) ボランティアの育成や活動を支援します。

具体的な取り組み	16	ボランティア・NPO活動の情報や活動の魅力を伝え、参加者の増加に結びつく広報・啓発の取り組みを推進します。
----------	----	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	各学区福祉委員会における広報紙発行 (笠取・笠取第二を除く)	各学区福祉委員会が自らの広報紙を発行して、地域福祉活動の情報を発信を通じて、理解者を増やし、活動の担い手を増やしていく。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	宇治ボランティア活動センターによるボランティア活動の啓発	個人ボランティア制度を含め、実際のニーズとボランティアを調整。情報誌「パートナー」を発行したり、Facebook等のSNSを活用したりして、広く市民にボランティア活動への参加、協力呼びかけを行い、ボランティアの裾野を拡げている。
宇治ボランティア活動センター	ボランティアフェスティバルの開催	宇治ボランティア活動センターの登録グループと個人登録者の相互交流、ボランティア自身によるボランティア相談等を行い、新たな活動のコラボレーションの可能性を広げ、市内ボランティア活動のより一層の連携と広がりを持たせるために「ボランティアフェスティバル」を開催している。
宇治ボランティア活動センター	マスコットキャラクター(ゆるキャラ)の運用	ボランティア活動の広報啓発の「助っ人」として、専属のマスコットキャラクター「ウッチー」を作成。施設等の催しを通じて、ボランティア活動への参画を呼び掛けた。
宇治ボランティア活動センター	京都文教大学ボランティア演習の学生受入れ	京都文教大学でボランティア演習の授業を選択した学生の実習受入れを通じて、ボランティア活動への理解促進を図っている。
宇治ボランティア活動センター	宇治福祉まつりへの参加	宇治福祉まつりへの参加を通じて、ボランティア活動のPRを行っている。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会連絡協議会による『学区福祉委員強化月間の取組み』支援	学区福祉委員会との協働により、これからの地域福祉活動の担い手づくりとして「学区福祉委員強化月間」を定め、学区福祉委員の拡充を図っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込み					
2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
—		—	—	—	
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価	評価に対する説明				
—	—				

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

(3) ボランティアの育成や活動を支援します。

具体的な取り組み	17 企業による企業市民活動(社会貢献活動)が活性化するような取り組みを進めます。
----------	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	社会福祉協議会の会員募集(事業所会員等)	各学区福祉委員会と連携して、住民(戸別)、事業所会員募集の他、団体・施設・賛助会費の呼びかけを行い、社協の自主財源の確保とともに、市民に、様々な形で福祉活動に協力いただくための投げかけを行っている。
宇治市社会福祉協議会	企業の社会貢献及び地域福祉活動財源強化のための自動販売機設置推進	企業の社会貢献を進める観点から、様々な法人や事業所等の理解を得ながら飲料用自動販売機の設置を進め、その利益を地域福祉活動、ボランティア活動の拡充に活用する。
宇治市社会福祉協議会	異業種とのネットワークづくり事業	宇治市福祉サービス公社と協働で、介護離職に着目して、企業や働く世代にどう関わっていくか継続した協議を勧める。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込み					
2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
—		—	—	—	
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

大項目	(4) 地域福祉活動の基盤となる地域コミュニティの育成を推進します。		
具体的な取り組み	18	町内会・自治会の存在意義を住民に周知・広報するとともに、町内会・自治会等が行う未加入者に対する加入促進の取り組みを支援します。	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込み					
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		—	—	—	—
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

(4) 地域福祉活動の基盤となる地域コミュニティの育成を推進します。

具体的な取り組み	19 町内会・自治会だけでなく、地域のサークルやNPO等、地域で行われる多様なコミュニティ活動を支援します。
----------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	ジュニア和太鼓サークルの育成 (大久保)	地域の1～6年生を対象とした和太鼓の練習会を実施するとともに、地域行事などにも成果を発表するなど、子どもたちのふれあいの心を育成する。
学区福祉委員会	高齢者施設への支援 (御蔵山・菟道・菟道第二・大開・小倉・平盛・伊勢田・西小倉地区社協)	ハーモニーこはた、宇治やすらぎの家、天ヶ瀬苑、白川明星園、ヴィラ鳳凰・小倉明星園・平盛デイ、伊勢田明星園、まごころ西宇治などが開催するイベントへの参画・協力を行う。
学区福祉委員会	障害者施設への支援活動 (宇治・南部・三室戸・菟道第二・小倉・榎島・西大久保・平盛・伊勢田・北榎島・西小倉地区社協)	各施設が行うバザーに物品を提供したり、イベントに参加・協力することで、精神的なバリアフリー活動の支援を行う。また、授産施設の商品販売の支援など障害者施設活動の支援を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	在宅保健サービスについての知識の普及・啓発事業	公社事業の紹介や介護保険、福祉情報を掲載した情報誌の発行、各種講演会や研修講座等へ職員を派遣し、在宅保健福祉サービスについての知識の普及・啓発を行う。
宇治市福祉サービス公社	地域団体等との連携・協力を積極的に関わる	宇治市や宇治市社会福祉協議会とも連携し、公社内部で地域密着型事業推進委員会を設け、地域で活動する市民や福祉団体等との連携・協力を努める。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	備品の貸出し	町内会・自治会、福祉活動団体等におけるイベント交流事業等に活用できる機器材(テント、長机、イス、ポップコーン、綿菓子、たこ焼き器等)の無償貸し出しを実施している。
宇治市社会福祉協議会	赤い羽根コラボ助成金事業への支援 (宇治市共同募金委員会との連携)	市内における福祉のまちづくり事業を推進するために、宇治市共同募金委員会が実施するコラボ助成金事業への情報連携・事務支援等を行った。助成内容は、公募により1件20,000円の運営費助成と50,000円を上限とした地域福祉活動が対象。新規事業に関しては2万円～10万円の間に支援を行った。
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会活動への支援	各学区福祉委員会の担当職員の配置により、学区福祉委員会活動と町内会・自治会等の地域活動が連携できるよう、協議の場づくりや連携のきっかけづくりの調整を行っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市文化自治振興課	地域コミュニティ活動支援事業	地域コミュニティの活性化に向けて、地域コミュニティ活動の支援に取り組み、その役割及び重要性について意識の浸透を図る。			
	◆成果・実績及び見込み	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		地域コミュニティ活性化に向け、未来の視点で考える「フューチャー・デザイン」という手法を用いたシンポジウム・ワークショップを開催した。地域コミュニティの課題に対し、市民が主体的に考える機会となった。	地域コミュニティ活性化に向けたシンポジウム開催や、職員研修に取り組み。	地域コミュニティ活性化に向けて、地域コミュニティ活動の支援に取り組む。	地域コミュニティ活性化に向けて、地域コミュニティ活動の支援に取り組む。
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
	A	地域コミュニティの重要性について意識の醸成を図るとともに、地域コミュニティの課題に対し、市民が主体的に考える機会となった。今後も地域コミュニティ活性化のための取り組みを進めていく必要がある。			

大項目	(5) 地域福祉活動や交流の拠点整備を推進します。		
具体的な取り組み	20	地域福祉活動や交流の拠点として、総合福祉会館や地域福祉センター、隣保館、集会所、公園等の公共施設がより気軽に使いやすくなる取り組みや、学校施設や福祉施設、空き店舗等を地域の交流の拠点として活用できるよう、条件整備を推進します。	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域福祉センター管理運営事業	公社が指定管理を受託している地域福祉センターを、地域の福祉団体や住民との協働により、地域福祉の拠点として、また地域密着型の利用しやすい活動、交流の拠点となるよう適切な維持・管理・運営を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	宇治市総合福祉会館の管理運営	市内に居住する高齢者及び身体障がい者の福祉の増進に寄与するとともに、社会福祉関係団体やボランティア活動団体の活動拠点としての利便に供するため、宇治市総合福祉会館を管理運営する。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市産業振興課	空き店舗活用支援事業	商店街にある空き店舗を活用することで、商店街の活性化が図られるとともに、地域交流拠点としての役割を果たしている。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		平成30年度においては利用がなく、事業の実績はなかった。	市ホームページに空き店舗情報を掲載し、積極的な活用を促すよう努める。	市ホームページに空き店舗情報を掲載し、積極的な活用を促すよう努める。	市ホームページに空き店舗情報を掲載し、積極的な活用を促すよう努める。
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	B	平成30年度については利用実績がなかったが、空き店舗の利用促進のため、市ホームページなどを活用し、さらなる制度の周知を徹底する必要がある。			
宇治市人権啓発課	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流を促進するため、地域福祉の推進を図るための事業や各種人権啓発交流事業を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		◎コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業の実施 地域福祉の推進を図るため、相談事業や学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。 ◎コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業の実施 「人権尊重理念の普及」と「さまざまな人権問題の解決」に向け、交流講座の開催や人権啓発イベントの開催事業を実施した。	実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	B	各種人権啓発交流事業等に取り組んだことにより、市民交流及び地域活動の促進を図ることができた。利用者も徐々に増えているが、さらなる利用者増を含め、今後も効果的な取組を検討する必要がある。			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

宇治市 生涯学習課	子どもの居場所づくり支援事業		学校、公民館、集会所等を活動拠点として子どもの居場所を再生するため、既存の社会教育・スポーツ団体の枠を超えた受け皿体制の確立を促進する。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	遊びや自然・文化体験又はスポーツ等の学習指導により、子どもたちが学校や家庭では経験できない種々の体験をし、優しさやたくましさを育む活動や場所を提供・支援した。4公民館で開催回数は51回、延べ848人が参加した。		終了	終了	終了
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
F		公民館サークル及び地域住民の協力のもと、遊びや自然体験などの活動を実施し、子どもの健やかな成長を促すことができた。各公民館の活動事業との体系的な整理を図り、本事業は平成30年度で終了する。			
宇治市 教育支援課	放課後子ども教室支援事業		平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域の参画を得て、子どもに安全・安心な居場所を提供するとともに、子どもが、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を通じて、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	北槇島小学校で実施している「放課後学習会&北槇っ子くらぶ」では、23回開催し、延べ1,207人の参加があった。笠取第二小学校で実施している「笠二っ子クラブ」では、199回開催し、延べ1,353人の参加があった。平盛小学校で実施している「まなび(宿題)教室」では、149回開催し、延べ1,597人の参加があった。		北槇島小学校、笠取第二小学校、平盛小学校に加え、市内の小学校で実施できるように調整、検討中。	放課後子ども教室の新規開設未定。	放課後子ども教室の新規開設未定。
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		遊びや学びの場を提供する地域活動に対して、教育活動推進員及び教育活動サポーターを派遣し、子どもの放課後の居場所を確保した。平成28年度、平成29年度と1校ずつ実施校を増やしているが、教室を持続的に運営するための地域の安定した協力体制の構築等が課題である。			

(5) 地域福祉活動や交流の拠点整備を推進します。

具体的な 取り組み	21 地域にある既存の公共施設を適切に維持管理し、計画的に整備・改修します。
--------------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 文化自治 振興課	集会所維持管理事業	地域住民のコミュニティ活動の場となる集会所の維持管理を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		集会所の改修・修繕を実施した。 また、地域コミュニティ再編計画を策定し、今後の集会所のあり方や、耐震補強についての方針を示した。	集会所の改修・修繕を実施する。 また、地域コミュニティ再編計画を推進する。	集会所の改修・修繕を実施する。 また、地域コミュニティ再編計画を推進する。	集会所の改修・修繕を実施する。 また、地域コミュニティ再編計画を推進する。
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
	評価	A			本市が管理する集会所について、必要に応じて改修・修繕を実施し環境整備を行った。今後は、地域コミュニティ再編計画に基づく集会所無償譲渡の取り組みや、耐震補強に取り組む必要がある。
宇治市 生涯学習課	野外活動センター管理運営事業	「自然とのふれあい、自然の中での交流」をテーマに、青少年をはじめ、すべての市民が利用できる総合的な野外活動施設、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理を行うとともに、センターの各施設を利用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などの様々な活動を展開する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		(公財)野外活動センターを指定管理者として、施設の管理・運営を行った。野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供するなど、生涯学習の推進を図った。また、平成11年度から平成30年度までの延べ利用者数は約175万人となった。	引き続き、(公財)野外活動センターが施設の管理・運営を行い、野外活動を通じた豊かな生涯学習社会の実現をめざす。	引き続き、(公財)野外活動センターが施設の管理・運営を行い、野外活動を通じた豊かな生涯学習社会の実現をめざす。	引き続き、(公財)野外活動センターが施設の管理・運営を行い、野外活動を通じた豊かな生涯学習社会の実現をめざす。
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
	評価	A			指定管理者により適正に管理・運営を行っている。今後も様々な野外活動を通じて、生涯学習の充実に努める。

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

大項目	(6) 地域福祉活動を支える基盤として、寄付文化の醸成に努めます。
具体的な取り組み	22 社協活動をはじめとする地域福祉活動を支える基盤として、募金活動に積極的に取り組みます。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	赤い羽根共同・歳末募金への協力活動 (全21学区)	街頭募金での啓発活動をはじめ、各種資材募金、戸別募金への協力を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	共同・歳末募金への協力活動事業	街頭募金活動を始め、公社が主催する各種事業において、募金箱を設置するなど協力を呼び掛ける。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会 (宇治市共同募金会)	赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の実施協力	民間の社会福祉活動の財源として、市共同募金委員会が実施主体となり毎年10月から12月末日(申請により3/31まで延長可)までの3ヶ月間、市内一円で赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動を展開している。 町内会や自治会、企業、施設、病院、各地域の福祉活動団体にも呼びかけ、募金への理解、協力を求める。また、市内小・中学校の一部と民間保育園連盟の協力で、生徒や園児とその家族へ組立式募金箱を配布し、協力を呼びかけている。幹事組織を持つ募金委員会として、オリジナル寄付つき年賀ハガキを作成するなど啓発についても多面展開している。
宇治市社会福祉協議会	ふれあい基金・ボランティア基金の運営	地域福祉活動やボランティア活動の財源確保を市民参画で推進するため、「ふれあい基金」及び「ボランティア基金」を運営する。
宇治市社会福祉協議会 (宇治市共同募金会)	自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置	共同募金運動推進のため、京都府内初となる飲料自動販売機型募金箱を宇治市総合福祉会館前に平成19年3月から設置している。現在3台のハートフルベンダーが稼働中。
宇治市社会福祉協議会	災害時支援活動準備金の運営	市内外で災害時におけるボランティア活動や被災者支援活動を支える資金として呼びかけ、理解、協力を求める。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込み					
2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
—		—	—	—	
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

(6) 地域福祉活動を支える基盤として、寄付文化の醸成に努めます。

具体的な 取り組み	23 募金や寄付の用途を明確にする等、理解を得るための広報・啓発に取り組みます。
--------------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	イオン黄色いレシートキャンペーンへの参加	毎月11日に行われる、「イオン黄色いレシートキャンペーン」に参加。買い物客から黄色いレシートの協力をいただけるよう運営委員が店頭入口に立ち、ボランティア活動センターのPRを実施。レシートの総額の1%の額で、ボランティア活動センターやボランティア活動団体に必要な機材等を購入している。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		—	—	—	—
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	—	—			

3. ゆるやかな支え合い

柱	3. ゆるやかな支え合い 支援が必要な人を地域でゆるやかに支え合いながら、困りごとがあったとき、いざというときには迅速に対応できる地域での支え合いネットワークづくりを推進します。
---	---

大項目	(1) 支援が必要な人を、一人ひとりの考え方や生活スタイルの違いを尊重しながら見守っていくための取り組みを推進します。
具体的な取り組み	24 認知症や障害をはじめとした福祉課題についての正しい理解の促進や広報・啓発に積極的に取り組むとともに、当事者組織の結成やその活動を支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	「バリアフリー映画」の上映	バリアフリーのまちづくりを目指し、みんなが共に楽しめるように「バリアフリー映画」の上映会を毎年開催し、ボランティアによる字幕、副音声、保育付きの映画を上映することで、市民みんなが楽しめるようにしている。
宇治ボランティア活動センター	おもいの駅伝の開催	宇治ボランティア活動センターの事業として「おもいの駅伝」と名付けた、障がいのある方とその関係者の理解促進と相互交流の場づくりを行っている。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	情報誌等による事業内容の紹介	広報誌「ぼっぼ」を発行し、高齢者介護・介護予防等の情報提供に努める。
宇治市福祉サービス公社	障害者・高齢者への理解を深めるための各種講座などの取り組み	「地域福祉のつどい」や認知症予防講座、市民シンポジウム等の開催や各種団体からの講師派遣依頼に積極的に対応する。
宇治市福祉サービス公社	初期認知症総合相談支援事業	初期認知症の人や家族に対して、状況に応じた適切な医療、介護等の連携を図り、必要となる社会資源を構築する為の事業を実施。 ・認知症コーディネーターの設置と本人・家族への支援 ・認知症対応型カフェの企画・運営による支援
宇治市福祉サービス公社	認知症初期集中支援チーム事業	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で、生活を維持できるように支援する。
宇治市福祉サービス公社	宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の事務局業務	「宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」」の事務局の委託業務を受ける。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	在宅高齢者介護者リフレッシュ事業による介護者支援	宇治市よりの受託事業。同じ介護者同士が交流できる場を設け、介護者の日頃の労苦を労う。また介護者家族の会の紹介等を通じて、介護当事者団体の支援につなげている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 健康 生きがい課	認知症家族介護者支援事業 ①認知症家族支援プログラム ②認知症家族支援プログラムOB会	認知症家族支援プログラムやOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	①認知症家族支援プログラム 延べ人数 54人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 114人		①認知症家族支援プログラム 延べ人数 60人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 100人	①認知症家族支援プログラム 延べ人数 60人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 100人	①認知症家族支援プログラム 延べ人数 60人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 100人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	①認知症家族支援プログラムは、参加者を、在宅で初期又は中等度の認知症の人を現在介護している人と限定していることもあり、参加者の中には、毎回続けて参加することが難しい人もいる。参加者家族の個別状況に応じた内容であること、介護者同士のピアカウンセリングにより介護疲労の軽減、介護意欲の向上につながっているため、参加者の満足度は高い。 ②認知症家族支援プログラムOB会は、参加者数が安定しており、継続した介護者同士のピアカウンセリングの場になっている。				
宇治市 健康 生きがい課	初期認知症総合相談支援事業 ①初期集中支援チーム ②認知症対応型カフェ	認知症コーディネーターを配置し、認知症対応型カフェ(れもんカフェ)の企画及び認知症初期集中支援チームの設置、お元気チェックリスト該当者訪問を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	認知症コーディネーター 3人配置 認知症対応型カフェ(れもんカフェ) 37回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 36人 お元気チェックリスト該当者訪問実人数 495人		認知症コーディネーター 3人配置 れもんカフェ 36回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 60人 お元気チェックリスト該当者訪問実人数500人	認知症コーディネーター 3人配置 れもんカフェ 36回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 60人 お元気チェックリスト該当者訪問実人数500人	認知症コーディネーター 3人配置 れもんカフェ 36回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 60人 お元気チェックリスト該当者訪問実人数500人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	認知症の人とその家族が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、認知症の初期の支援策を構築した。認知症の初期の人が、重度化する前に支援者と出会い、支援につながるために引き続き実施する。				

3. ゆるやかな支え合い

(1) 支援が必要な人を、一人ひとりの考え方や生活スタイルの違いを尊重しながら見守っていくための取り組みを推進します。

具体的な取り組み	25 ふれあいサロン活動等、地域とのつながりづくりを支援します。
----------	----------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	公園サロンの開催 (御蔵山)	子どもから高齢者まで、気兼ねなく集える公園サロンを月1回開催し、高齢者のみならず、小学生のボランティアなど世代を超えて社会とのつながりを持てる場として広がりをもたせる。
学区福祉委員会	福祉農園の運営 (小倉)	高齢者の社会参加、健康増進のきっかけづくりの他、子どもから高齢者までの市民が交流できる場として福祉農園を運営管理する。
学区福祉委員会	ふれあい茶店の開催 (三室戸)	三室戸寺付近の駐車場を開放して茶店を開催し、学区内の高齢者や介護者を対象に優待するとともに、他の障害者施設の出店の手伝いを行う。
学区福祉委員会	ふれあいサロンの開催及び支援 (御蔵山・宇治・岡屋・南部・三室戸・菟道・菟道第二・神明・大開・大久保・西大久保・平盛・伊勢田・南小倉・北小倉・小倉・槇島・北槇島)	ブロック単位でふれあいサロンを開催するとともに、学区直轄でないサロンとも連携して、高齢者の閉じこもり予防に取り組む。サロン交流会の開催によるサロン同士のつながりづくり。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	Hot! ふれあいサロンへの支援 (宇治市共同募金委員会との連携)	地域における孤立を予防するため、住民が手作りで開くサロン事業に対し、情報提供や相談、補助金の交付などを行う。参加者が情報を共有するとともに、心配ごとを参加者やボランティアに相談できる居場所づくりとなっている。(サロン助成は宇治市共同募金委員会が実施)

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市健康生きがい課	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	(福)宇治市社会福祉協議会の実施している給配食サービス事業(学区福祉委員会等が概ね65歳以上の在宅の一人暮らし高齢者に対し、会食または配食サービスを実施)に対し、補助金を交付する。			
	◆成果・実績及び見込み	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		一人暮らしの高齢者等との交流を目的に、地区社協・学区福祉委員会が実施する給配食サービス事業に使用される材料費の一部を助成し、一人暮らし高齢者等福祉の向上に努めた。 給配食数 8,286食	実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
	B	概ね計画どおりであるが、市全体として補助金の見直しを行う中で、補助内容や助成額については継続して検討を行う。			

(1) 支援が必要な人を、一人ひとりの考え方や生活スタイルの違いを尊重しながら見守っていくための取り組みを推進します。

具体的な取り組み	26 犯罪被害者等が受けた被害の回復及び軽減を図るための取り組みとして、広報活動を推進します。
----------	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 総務課	犯罪被害者等支援事業	犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう、相談に応じたり、他機関との連携を図ったり状況に応じた適切な支援を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		京都府主催の研修会等に積極的に参加。犯罪被害者支援週間(11月25日～12月1日)に合わせ、FMうじでの啓発スポットCMの放送や市職員及び市民を対象としたホンデリングプロジェクトを実施。 ・見舞金支給状況 遺族見舞金 0件 障害見舞金 0件	より効果的な施策の検討を行う。 犯罪被害者支援週間に啓発スポットCMの放送、ホンデリングプロジェクトの実施。	より効果的な施策の検討を行う。 犯罪被害者支援週間に啓発スポットCMの放送、ホンデリングプロジェクトの実施。	より効果的な施策の検討を行う。 犯罪被害者支援週間に啓発スポットCMの放送、ホンデリングプロジェクトの実施。
		◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明		
	評価	B 犯罪被害者支援週間に合わせ、FMうじでの啓発スポットの放送やホンデリングプロジェクトを実施することができた。			

3. ゆるやかな支え合い

大項目	(2) 地域での見守り等を通じて、孤立を未然に防ぐ地域づくりを推進します。
具体的な取り組み	27 地域での見守り等を通じて、様々な情報や事例を共有し、関係機関との連携体制を強化する取り組みを推進します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	敬老のつどい開催 (笠取第二・神明・西小倉地区社協)	各種団体と連携して学区単位での敬老会を実施している。
学区福祉委員会	認知症・防災プロジェクト (菟道第二)	認知症にやさしい地域づくりと地域防災のあり方についての研修、実践を模索している。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	地域ひとつなぎ事業助成	京都府社会福祉協議会の助成金を活用して、市内の各種団体(学区福祉委員会に限らない)が行っている高齢者等の見守り活動を行う団体への支援を行っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込み					
2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
—		—	—	—	
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価	評価に対する説明				
—	—				

(2) 地域での見守り等を通じて、孤立を未然に防ぐ地域づくりを推進します。

具体的な 取り組み	28 地域での見守り等を通じて、近年社会問題となっている虐待やDV、孤独死・自殺の防止、ひきこもり対策等への支援の取り組みを推進します。
--------------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への訪問活動 (木幡・宇治・南部・岡屋・菟道・菟道第二・神明・大開・大久保・西大久保・平盛・伊勢田・西小倉地区社協・小倉・槇島)	一人暮らし高齢者の安否確認・閉じこもり防止を兼ねて学区福祉委員による月1回以上の声かけ・見守り活動を実施する。
学区福祉委員会	一人暮らし高齢者の見守り訪問活動 (平盛)	連合自治会、学区福祉委員会など各種団体との連携により発足した「心ぼかぼか和みの会」による見守り訪問活動を実施する。
学区福祉委員会	高齢者見守り活動の強化 (菟道第二)	認知症など高齢者を取り巻く状況について学んだり、地域で高齢者を見守る体制づくりを促進させるための研修会の開催など、さまざまな取り組みを通して、定期的な見守り・声かけ活動を実施する。
学区福祉委員会	歳末ふれあい事業の実施 (全21学区)	12月～1月にかけて、各学区にて新年会食会・おせち料理の配食等を通じて、歳末の見守り・声かけを実施する。その他、左義長等、子どもから高齢者までが交流できる催しを実施する地域もある。
学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への給配食サービス (御蔵山・木幡・宇治・岡屋・南部・三室戸・菟道・菟道第二・神明・大開・大久保・西大久保・平盛・伊勢田・西小倉地区社協・小倉・槇島・北槇島)	身近な施設を利用し、高齢者同士やボランティアとの交流を目的に会食会を実施する。また配食による、身近な住民同士の声かけ活動を行う。
学区福祉委員会	「命のカプセル」の配布・訪問活動の強化 (南部)	一人暮らし高齢者等を対象に救急医療情報キット「命のカプセル」を配布し、消防署との連携により救急搬送時に役立てる。年1回の情報更新を目的に訪問することで、日常の見守り活動を強化する。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	一人暮らし高齢者等への訪問活動への支援	声かけ訪問、安否確認、見守りなどを通じて、一人暮らし高齢者のSOSを発見するための小地域福祉活動を支援している。
宇治市社会福祉協議会	児童虐待防止ネットワークへの参画	児童の虐待を未然に防ぐために設けられたネットワーク会議へ参加するとともに、学区福祉委員会などと連携した活動を推進している。
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会による一人暮らし老人等への声かけ、見守り活動を媒介にしたネットワークづくり	一人暮らし高齢者等への訪問、声かけ活動をきっかけとして、民生児童委員、喜老会、一人暮らし高齢者の会、自治会・町内会活動との連携を図っている。

3. ゆるやかな支え合い

実施主体・担当課	事業	事業概要			
<p>宇治市 男女共同 参画課</p>	<p>DV対策事業</p>	<p>DVの早期発見と発見時の一時保護等の対応を迅速かつ正確に行うため、関係機関や市関係課とのネットワークを築き情報交換や事例研究を行う。「女性のための相談」の中で、DV被害に対する相談も受け付ける。また、DV被害者への支援として生活資金緊急貸付等にも取り組む。</p>			
	<p>◆成果・実績及び見込み</p>				
	<p>2018年度成果・実績 (平成30年度)</p>	<p>2019年度見込 (令和元年度)</p>	<p>2020年度見込 (令和2年度)</p>	<p>2021年度見込 (令和3年度)</p>	
	<p>「宇治市DV対策ネットワーク会議」を年3回開催し、関係機関・団体の相互連携を図ると共に、庁内関係課で構成する「女性のための相談担当者ネットワーク会議」を開催し、DV被害者に関する情報の共有と事例の研究等を通じてDV防止及び被害者の保護・支援に努めた。また、相談コーディネーターを配置し、ケース会議や適切な情報提供等により効果的な被害者支援を行った。女性のための相談 一般相談186件、専門相談127件</p>	<p>実施</p>	<p>実施</p>	<p>実施</p>	
	<p>◆2018年度(平成30年度)の評価</p>				
<p>評価</p> <p>A</p>	<p>評価に対する説明</p> <p>概ね計画どおりであるが、引き続き関係機関等との連携強化を図る必要がある。</p>				
<p>宇治市 ごみ減量 推進課</p>	<p>ふれあい収集</p>	<p>高齢や障害により自ら定点までごみを出すことが困難であり、他者の協力を得られない世帯を対象に戸別訪問し、ごみ収集を行うことで負担軽減を図る。あわせて安否確認も行う。</p>			
	<p>◆成果・実績及び見込み</p>				
	<p>2018年度成果・実績 (平成30年度)</p>	<p>2019年度見込 (令和元年度)</p>	<p>2020年度見込 (令和2年度)</p>	<p>2021年度見込 (令和3年度)</p>	
	<p>21年度に試行実施し、22年度より本格実施しており、30年度末の利用者件数は385件となった。介護が必要な方や身体に障害がある方など、ごみ収集場所へのごみ出しが困難な世帯に対して、戸別収集を行った。また、希望者には声掛けを行った。</p>	<p>実績等により推計して、400件の利用を見込む</p>	<p>実績等により推計して、400件の利用を見込む</p>	<p>実績等により推計して、400件の利用を見込む</p>	
	<p>◆2018年度(平成30年度)の評価</p>				
<p>評価</p> <p>A</p>	<p>評価に対する説明</p> <p>高齢社会の進展に伴い、市民の高いニーズがあるとともに、市民に非常に好評な事業であることから今後も継続して実施していく。29年5月に実施要項を一部改正し対象範囲の拡大を図ったところであるが、市民ニーズに応じてよりよいサービスが提供できるよう、今後も継続して対象範囲や収集体制等を検討していく必要がある。</p>				

宇治市 地域福祉課	自殺対策事業		自殺の防止及び自殺につながる悩み等の解決に向け、積極的に広報・啓発することで、市民に自殺が身近な問題であることを認識してもらう。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	<p>【会議・研修会への参加】 京都府の自殺対策担当者会議等へ参加</p> <p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、ホームページへの啓発記事掲載(3回)及びFMうじによる広報(3回)</p> <p>・市内3図書館での図書展示(9月・3月)</p> <p>・市福祉こども部・健康長寿部初任者(33人)、民生児童委員(29人)へのゲートキーパー研修</p> <p>・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催(3月)</p>		<p>【会議・研修会への参加】 京都府の自殺対策担当者会議等へ参加</p> <p>【庁内連絡体制の強化】 ・市町村自殺対策計画の策定に向けて、庁内連絡会議による情報の共有・意見交換</p> <p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報</p> <p>・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月)</p> <p>・市福祉関係課初任者、及び関係団体等へのゲートキーパー研修</p> <p>【計画策定】 宇治市自殺対策計画の策定</p>	<p>【会議・研修会への参加】 京都府の自殺対策担当者会議等へ参加</p> <p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報</p> <p>・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月)</p> <p>・市福祉関係課初任者、及び関係団体等へのゲートキーパー研修</p> <p>【自殺対策事業】 計画に基づく各種事業実施の検討</p>	<p>【会議・研修会への参加】 京都府の自殺対策担当者会議等へ参加</p> <p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報</p> <p>・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月)</p> <p>・市福祉関係課初任者、及び関係団体等へのゲートキーパー研修</p> <p>【自殺対策事業】 計画に基づく各種事業実施の検討</p>
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		市政だより・ホームページ・FMうじ・講演会にて広報・啓発活動を行ったが、「自殺」という問題について、市民への周知はまだまだできていない。平成30年度も市福祉関係課初任者及び新任の民生児童委員へのゲートキーパー研修を行ったが、さらにこの取り組みを広げ、より多くの人に「自殺」の現状を知ってもらい、誰にでも起こり得る身近な問題であることを理解してもらったうえで、適切な対応をしてもらえるよう働きかけが必要である。			
宇治市 健康 生きがい課	高齢者虐待対策事業		近年深刻化する高齢者虐待に対して、被虐待者の生命・身体・精神的安全をはかるため、措置による身体の一時的確保及び施設入所を行う。対応マニュアルに沿って運用している。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	高齢者虐待相談件数 74件 うち虐待者からの分離が必要であると判断し、緊急措置を行った件数 5件		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		通報により早急な対応が必要と判断したケースについては、緊急対応を実施している。また、対応マニュアルに沿って、定期的に虐待評価会議の中で、対応計画の立案、モニタリング、対応計画の評価を行っている。			

3. ゆるやかな支え合い

宇治市 教育支援課	不登校児童生徒自立支援教室 運営	不登校の児童・生徒が学校生活や社会生活に適應できるよう、適應指導教室を開設し小集団による援助・指導を行う。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	小学校3年から中学校3年までの不登校児童・生徒に対して、個々の状態に応じて不登校児童生徒自立支援教室で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、社会的自立に向けて支援を行った。 在籍児童・生徒数:19人 改善状況: 学校復帰2人 部分登校8人 好転8人 変化なし1人	教室実施	教室実施	教室実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	不登校児童生徒自立支援教室での支援・指導を通じ、不登校の児童・生徒の学校生活及び社会生活への復帰を図った。複合的な要因による不登校児童・生徒が増加傾向にあるため、学校及び関係機関との連携を強化し、効果的な教室運営に努める必要がある。			
宇治市 教育支援課	心と学びのパートナー派遣事業	問題行動及び不登校の未然防止を図るため、生徒が身近に感じられる兄弟的な若い世代の相談員を配置し、いつでも気軽に相談できる環境をつくる。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	別室登校や不登校傾向の生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を6中学校に派遣した。 対応延べ人数 757人	心と学びのパートナー派遣実施	心と学びのパートナー派遣実施	心と学びのパートナー派遣実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	生徒が悩みを気軽に相談できる、若い世代の相談員を配置し、関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図った。今後も不登校対策事業全体の中で、体系的な事業効果の向上に努める必要がある。			
宇治市 教育支援課	不登校児童生徒支援事業	不登校児童生徒のアセスメントや学校への助言・援助等を行うコーディネーター及び支援員等を配置し、学校におけるケース会議の支援や、家庭へのアウトリーチ等を通して、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行う。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	全小中学校への巡回訪問や、学校と共に不登校児童・生徒への支援に取り組む中で、教職員の不登校への理解が進んだ。また、福祉的な観点が必要なケースで協働することにより、福祉部局との連携が強化された。 28ケースを支援	事業実施	事業実施	事業実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	学校で起こる複雑な不登校問題に対し、児童・生徒や家庭への支援をコーディネーターを中心として適材適所で行うとともに、福祉部局との連携を図る中で社会的な自立に向けて組織的に取り組んだ。引き続き教育・福祉の連携をより一層深め、学校を取り巻く様々な福祉的課題の解決に努める必要がある。			

大項目	(3) 地域の人と人をつなぐ場として、地域福祉のつどいや地域懇談会等の取り組みを支援します。
具体的な取り組み	29 活動を行っている人々が、地域福祉のつどいや地域懇談会において支援の事例や情報を共有することにより連携を強化できるよう支援します。

＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	サロン連絡会の開催 (横島)	1町内1サロンの設立を目指し、新規サロン立ち上げ支援をはじめ、サロン報告会を通じ、プログラム内容の研修、サロン運営について情報交換を図る。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	ボランティア活動センター登録サークル、個人交流会の開催	ボランティア活動センター登録者による総合福祉会館の清掃活動、活動交流会を開催している。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域福祉センター等での「地域福祉のつどい」・「コミュニティカフェ」の開催	多様な地域住民が集い、情報の発信や交流を恒常的に図る“場づくり”として、各地域福祉センター等を有効に活用し実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	宇治福祉まつりの開催	市民参画による福祉まつり実行委員会を結成し、宇治のまちで未来を大きくもうとしている各種団体の活動を広く市民にPRしながら、宇治のまちの歴史をつむぐ人たちが集い、交流する場として「宇治福祉まつり」を開催している。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	新春福祉のつどいの開催	年の初めにあたり、地域福祉に携わる関係者が一堂に会し、長年ご尽力いただいた皆様方のご労苦をたたえるとともに、新年を寿ぎながら懇親を深める。福祉の充実への確かな展望と、今後の活動の糧とするために開催している。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	木幡地域懇談会	木幡学区福祉委員会の解散を受け、今後、木幡の地域福祉について木幡地域に住む方々と語っていける風土づくりを目指し、学び合い、話し合いの場を継続して開催している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 地域福祉課	地域福祉推進事業	宇治市地域福祉計画に基づき、福祉のまちづくりを進めるため、実施する各事業の進行管理を行う。また、住民主体の取り組みを支援し、促進するために、出前講座を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	第2期宇治市地域福祉計画の目的達成に向け、地域福祉推進委員会の議論を踏まえて計画に位置づけられた各事業の評価を行った。今後、社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画との連携を図ることが課題である。 ・地域福祉推進委員会2回 ・出前講座 1回	・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会 2回 ・出前講座 1回	・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会2回 ・出前講座1回	・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会2回 ・出前講座1回	
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
	評価	B 第2期宇治市地域福祉計画の進行管理において、事業評価の手法を課題としており、地域福祉推進委員会での検討結果をふまえて評価手法を改めていく。 地域福祉に関する情報発信等について、関係部局と協議を行う必要がある。			

3. ゆるやかな支え合い

(3) 地域の人と人をつなぐ場として、地域福祉のつどいや地域懇談会等の取り組みを支援します。

具体的な取り組み	30 地域懇談会におけるファシリテーター(進行促進役)である地域協働コーディネーターを地域福祉推進の中核を担う人材として位置づけて養成し、地域が地域懇談会に主体的に取り組む環境づくりを推進します。
----------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		—	—	—	—
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	—	—			

柱	4. 多様な福祉サービスの創生と展開 地域で支援を必要としている様々な立場の人のニーズを把握し、行政や事業者による適切な福祉サービスの提供を推進します。
---	--

大項目	(1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるよう支援します。
具体的な取り組み	31 事業者においては第三者評価や利用者アンケートを実施したり、また行政においては学習会等を通じて利用者と事業者の橋渡しを行う等、サービスの質の向上につながる取り組みを推進します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	第三者評価の受け入れによるサービスの質の向上	第三者評価の実施や利用者へのアンケート(サービス満足度調査)に取り組み、質の向上を図る。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	身体障がい者デイサービス事業の開催	身体に障がいのある方の社会参加の場として、コーラスや生け花など8つの教室を開催している。
宇治市社会福祉協議会	身体障がい者移動支援事業	車イス利用者が広く社会参加できるよう、ガイドヘルパーを派遣し、外出時の支援を行う。

実施主体・担当課	事業	事業概要		
宇治市	—	—		
◆成果・実績及び見込み				
2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
—		—	—	—
◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
—	—			

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

(1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるよう支援します。

具体的な取り組み	32 地域包括支援センターを中心に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できるような地域包括ケアの構築を進めます。
----------	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域包括支援センター事業の推進	地域の総合相談窓口として、地域のネットワークづくりを目指すとともに、介護支援専門員への助言、支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメントに取り組む。 ①地域包括支援センターにおいて、成年後見制度等の権利擁護、介護を含む生活総合相談等に取り組み、地域の各種社会資源と連携を図る。 ②総合相談事業等を通じて、地域課題を掘り起こし、他の事業所とも連携し、その解決に向け取り組む。 ③各種講座・教室や「地域福祉のつどい」等地域行事に積極的に参加し、民生児童委員協議会、学区福祉委員会、喜老会、自治会等の意見交換の機会づくりに努める。
宇治市福祉サービス公社	地域支援事業推進のための体制整備事業	市の委託事業である「生活支援体制整備事業」推進のために、コーディネータを配置し介護予防、生活支援サービス事業の支援や、協議体の運営に社会福祉協議会とともに取り組む。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 健康 生きがい課	地域包括支援センター運営事業	6つの日常生活圏域に設置している、地域包括支援センターに、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等3職種の専門職を配置し、公平・中立な立場から地域における介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的マネジメントを実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		新規相談者数 実人数 3,711人 年間相談延べ件数 31,106件 地域包括ケア会議 年間 2回 小地域包括ケア会議 年間 22回	新規相談者数 実人数 3,500人 年間相談延べ件数 28,000件 地域包括ケア会議 年間2回 小地域包括ケア会議 年間18回	新規相談者数 実人数 3,500人 年間相談延べ件数 28,000件 地域包括ケア会議 年間2回 小地域包括ケア会議 年間18回	新規相談者数 実人数 3,500人 年間相談延べ件数 28,000件 地域包括ケア会議 年間2回 小地域包括ケア会議 年間18回
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	国の方針に基づき日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援することができた。効率的な業務及び適切な体制の整備等、地域包括ケアの推進と包括的支援事業の充実に向けて、今後も引き続き実施する。			

宇治市 健康 生きがい課	地域介護・福祉空間整備費補助金	宇治市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、民間が行うサービス基盤整備を促進する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	本補助制度該当案件はなかった。		予定なし	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。				
宇治市 健康 生きがい課	在宅要援護高齢者対策事業	一人暮らし高齢者やねたきり高齢者等の社会的孤立の防止と地域社会におけるサポート体制を整備するため、地域社会で安心して日常生活が送れるように、緊急通報体制整備・一人暮らし高齢者等訪問活動補助・老人福祉電話電話料助成事業等を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者等訪問活動事業 訪問人数 1,765人 ・シルバーホン設置事業 新規設置数 105台 ・福祉電話の基本通話料の助成 年度末助成対象者 49人 ・高齢者見舞品支給事業 636人 ・家具等倒壊防止金具購入助成事業 助成件数 10件 		実施 (一部見直し)	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。高齢者見舞品支給事業については令和元年度より、地域支援事業(一般介護予防事業)として実施する。一人暮らし高齢者等訪問活動事業については、今後は補助内容や金額の見直しに取り組む必要がある。				
宇治市 健康 生きがい課	在宅ねたきり者等訪問指導事業	40歳以上の在宅寝たきり者及びその家族、虚弱高齢者等に対して訪問による保健指導や生活管理指導を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	実人数: 7人 延べ人数: 21人		実人数: 10人 延べ人数: 30人	実人数: 10人 延べ人数: 30人	実人数: 10人 延べ人数: 30人
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	他制度(介護保険制度や障害福祉の制度等)の利用が優先されるが、制度と市民ニーズが合致しない人への受け皿として機能している。他制度が整備されているため、実人数は多くない。また、1回の訪問で終了するケースもある。				

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

(1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるよう支援します。

具体的な取り組み	33 地域子育て支援拠点を中心に、子育て世代を支援し、子育てを楽しむことができるような環境づくりを推進し、子育てひろば等の取り組みを通じて、横のネットワークづくりを支援します。
----------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	おしゃべりキャッチボール、赤ちゃんサロン、赤ちゃん広場、赤ちゃんパークの開設	特定非営利活動法人「子育てを楽しむ会」と共催、あるいは委託して実施。仲間づくりを目的とし、参加者が地域や子育てに対する情報交換・課題共有を図り、一人で悩まず、いきいきと子育てに取り組めるようにするため、開設している。子育て中の親が孤立しないよう、参加者同士やスタッフとゆっくりと交流できる時間をつくる。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 こども福祉課	乳幼児健康支援一時預かり事業	病気回復期等(病中を含む)で、集団保育が困難な状況にあり、かつ保護者の勤務等の都合により、家庭での保育が困難な児童に対して保育、看護を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	実施施設 ・宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター(宇治病院) ・浅妻医院パピールーム(浅妻医院) ・宇治徳洲会病院ひまわりルーム(宇治徳洲会病院) 延べ利用人数 1,613人		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	医療機関での病児保育を実施したことにより、児童の病気回復期等における保護者の就労を支援することができた。緊急時に対応する子育て支援として利用者のニーズは高いため、今後も継続実施する。				
宇治市 こども福祉課	こどもショートステイ事業	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、実施施設において、児童等の養育・保護を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	実施施設 ・桃山学園(京都市伏見区) ・京都大和の家(精華町) 利用日数11日		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	児童の一時的な保護を行うことにより、保護者・児童への支援を図ることができた。年度により利用件数の増減はあるものの、セーフティネットとしての機能と役割があるため、制度の周知に努めながら、今後も引き続き実施する。				

宇治市 こども福祉課	地域子育て支援拠点事業	子育てを支援するため、地域子育て支援センター等において、情報提供や相談、サークル育成等を行うとともに、親子が気軽に集えるひろばを開設し、関係機関や団体とのネットワーク化を推進する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	子育てに関する相談・交流、情報交換など総合的な子育て支援を進め、子どもの健やかな育ちを促進できた。9か所目の拠点を大型商業施設内に開設した。		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	地域子育て支援基幹センター等において地域における子育ての交流等を目的として各種事業を実施したことにより、子育ての不安等の緩和を図り、子どもの健やかな育ちを促進することができた。市民ニーズの把握、分析に努め、引き続き今後の子育て支援施策の展開を検討するとともに全10中学校区に1か所の配置となるよう整備を進める。			
宇治市 こども福祉課	地域子育てひろば支援事業	家族規模の縮小などにより地域のコミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	実施場所 ・下村集会所 ・平町集会所 ・開集会所 ・明星集会所 ・伊勢田北集会所		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	B	地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助を実施したことにより、交流及び情報交換などによって子育て家庭の支援を促進できた。今後は地域子育て支援拠点の整備状況を踏まえて、整理を図る必要がある。			
宇治市 こども福祉課	ファミリー・サポート・センター運営事業	保育所の送迎等、市民による育児の援助を促進するため、ファミリー・サポート・センターを設置し、援助会員及び依頼会員の登録や利用調整等を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	ファミリー・サポート・センターを運営し、対象を拡大するとともに地域における相互援助を支援した。 ・援助会員数:123人 ・依頼会員数:1,328人 ・両方会員数:24人 ・利用件数:1,449件		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	市民で構成される会員組織を運営し、地域における相互援助活動を実施したことにより、安心して働くことのできる環境づくりを推進することができた。多様化するニーズ等の状況の把握、分析に努めるとともに、安全面等にも十分留意しながら利用促進に努める必要がある。			
宇治市 こども福祉課	子育て支援総合コーディネーター事業	子育て家庭への支援の充実を図るため、「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター(専門相談員)と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	市役所1階市民交流ロビーにおいて、「来庁者子育て支援コーナー」を開設 利用人数 預かり 1,824人 相談 1,508人		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	来庁者の子どもの一時預かり及び子ども・子育て支援新制度に基づいた利用者支援事業として子育て全般に関する相談を実施したことにより、子育て家庭への支援の充実を図ることができた。今後は利用状況の分析に努めながら、事業展開のあり方について検討する。			

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

宇治市 こども福祉課	子ども・子育て情報発信事業		子育て世帯への情報発信の充実を図るため、子育て情報誌やSNS等の多様な媒体による子育て支援事業等の広報を実施する。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	情報誌送付世帯数	6,459世帯	継続実施	継続実施	継続実施
	LINE登録件数	3,252件(平成31年3月31日現在)			
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	子育て情報誌の紙面内容を充実を図り、未就学児のいる全家庭に配布するとともに、LINEを活用した子育て情報の発信を行うことにより、子育て世帯に幅広く周知することができた。情報誌やLINEの利用状況や子育て家庭のニーズ等をふまえ、さらにより良い情報発信に向けた検討を今後も引き続き進めていく。				

(1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるよう支援します。

具体的な取り組み	34 障害者生活支援センターや地域自立支援協議会等、障害者の相談体制の充実を支援します。
----------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	障害者相談支援事業	障害者総合支援法に基づき、相談支援専門員が利用者に対して住み慣れた居宅において可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう必要な支援を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	宇治市地域自立支援協議会「こども」部会への参画	地域共生社会推進事業の関りの中で、こども部会に参画している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 障害福祉課	障害者生活支援センター運営事業	身体及び知的障害者等に対して、情報提供や相談、福祉サービス等の利用支援などを行う拠点施設として、障害者生活支援センターを運営する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	宇治市障害者生活支援センター運営 1か所 障害児(者)地域療育支援センター運営 1か所	宇治市障害者生活支援センター運営 1か所 障害児(者)地域療育支援センター運営 1か所	宇治市障害者生活支援センター運営 1か所 障害児(者)地域療育支援センター運営 1か所	宇治市障害者生活支援センター運営 1か所 障害児(者)地域療育支援センター運営 1か所	
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
評価	A 相談件数を順調に伸ばしており、今後とも事業の継続が必要である。				
宇治市 障害福祉課	地域自立支援協議会運営委託事業	障害者が地域で自立した生活を営む上で生じる様々な課題を解決するため、協議を行う地域自立支援協議会の運営を委託する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	相談支援事業所が集まる会議を月1回開催 専門部会も加わった会議を年1回開催 4つの専門部会も開催	相談支援事業所が集まる会議を月1回開催 議長・副議長・専門部会の部会長が集まる運営会議を年6回開催	相談支援事業所が集まる会議を月1回開催 議長・副議長・専門部会の部会長が集まる運営会議を年6回開催	相談支援事業所が集まる会議を月1回開催 議長・副議長・専門部会の部会長が集まる運営会議を年6回開催	
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
評価	A 障害福祉分野における課題を細やかに検討している。市町村必須事業に位置づけられていることから今後も事業の継続が必要である。				

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

宇治市 障害福祉課	障害者生活支援事業		障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数40回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数279名 		<ul style="list-style-type: none"> ・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数40回 	<ul style="list-style-type: none"> ・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数40回 	<ul style="list-style-type: none"> ・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数40回 	
	◆2018年度(平成30年度)の評価					
	評価	評価に対する説明				
A	本事業が社会参加の場のひとつとして、他者との交流の場となっており、生活能力の向上にもつながるため、今後も事業を継続していく必要がある。					

大項目	(2) 地域の福祉サービス事業者との連携やNPO法人、市民活動団体への支援の取り組みを進めます。		
具体的な取り組み	35	保健・医療・福祉の横断的な連携を進めるため、福祉サービス公社をはじめとした福祉サービス事業者や専門機関、医療機関との意見交換、情報交換の場づくりを進めます。	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	「認知症疾患医療連携協議会」への参画	認知症の方を地域で支えるために必要な住民福祉活動と専門機関との連携についてのあり方を検討するための、「認知症疾患医療連携協議会」に参画して、地域の側から認知症のサポートについて検討している。
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会の小地域ネットワーク活動における民生児童委員との連携	福祉委員による見守り声かけ活動と、民生児童委員との連携による行政・専門機関との連携を図っている。
宇治市社会福祉協議会	福祉サービス公社や他法人との合同プロジェクトの実施	時代の変化に対応した取り組みを進めるために、どのような役割を地域に果たすのか、また創造していけるかを考えるため、福祉サービス公社や他法人との合同プロジェクト、勉強会を重ねている。
宇治市社会福祉協議会	市内社会福祉法人との連携事業の検討	社会福祉法人改革において「地域の公益的な活動」が求められており、各社会福祉法人と連携した事業についての在り方を引き続き検討している。
宇治市社会福祉協議会	れもねいど推進協議会への参画	宇治市の「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けた、認知症アクションアライアンス「れもねいど推進協議会」に参画している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込み					
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		—	—	—	—
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

(2) 地域の福祉サービス事業者との連携やNPO法人、市民活動団体への支援の取り組みを進めます。

具体的な取り組み	36	既存の福祉サービスだけでは対応しきれない生活課題に対応するため、先駆的な活動を行うNPO法人や市民活動団体等の主体的な活動を支援します。
----------	----	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域支援活動等を目的としたNPO法人等の支援	地域で福祉活動に取り組んでいる団体への支援のため、「地域力助成事業」として (1)新規立ち上げ団体の助成 (2)既存団体の定着応援助成を行い、福祉に取組む「地域力」の増大に寄与する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	当事者団体への支援	ひきこもり青年の社会参加を応援する会(家族会)や宇治市連合母子会など、とくに当事者性の強い団体やグループに対し、運営相談を受けるとともに、各種団体との調整を図りながら就労支援や学習支援のサポートを行っている。
宇治市社会福祉協議会	ボランティア活動センターへの運営支援	市民に対するボランティア活動の普及や活動者同士のつながりづくりに取り組んでいるボランティアセンターの各種事業に対して、調整・連絡・広報及び活動のための補助金交付等を通じての運営支援を行っている。
宇治市社会福祉協議会	民間助成の情報提供と応募支援	地域福祉活動の一助となるよう、宇治市内のNPO・ボランティアグループ・団体に、民間助成の情報提供や応募するためのアドバイス等を行っている。
宇治市社会福祉協議会	生活支援体制整備事業	宇治市よりの受託事業。地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため生活支援コーディネーター業務ならびに協議体の設置を行っている。
宇治市社会福祉協議会	宇治市福祉未来基金地域共生社会推進事業の実施	ひきこもり当事者やその家族、支援団体等からのヒアリング等を通じて、現状を把握するとともに、宇治市福祉未来基金を活用して、子どもの貧困、ひきこもり、地域福祉活動の担い手確保を目的とした事業に対して、公募による助成事業を実施している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市健康生きがい課	認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症を「自分のこと」と捉え、市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、やさしいまちづくりを目指して自分のできる行動を起こしていく「宇治市認知症アクションアライアンス」通称“れもねいど”活動を広める。			
	◆成果・実績及び見込み	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		れもねいど新規加盟企業 14団体(累計56団体) れもねいだー(ボランティア)新規登録者数 17人(累計107人) れもねいど推進協議会 年4回 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人 SOSネットワーク事前登録者(新規) 47人	れもねいど新規加盟企業 10団体 れもねいだー(ボランティア)新規登録者数 20人 れもねいど推進協議会 年4回 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人	れもねいど新規加盟企業 10団体 れもねいだー(ボランティア)新規登録者数 20人 れもねいど推進協議会 年4回 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人	れもねいど新規加盟企業 10団体 れもねいだー(ボランティア)新規登録者数 20人 れもねいど推進協議会 年4回 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人
		◆2018年度(平成30年度)の評価			
	評価	評価に対する説明			
A	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向け、全国に先駆けて一般企業や団体との連携を通じた施策を実施したことにより、認知症の正しい理解の普及・啓発に努めることができた。また、認知症当事者から直接意見を聞きながら事業を推進している。今後も「認知症の人にやさしいまち・うじ」の推進に向け、引き続き実施する。				

宇治市 健康 生きがい課	生活支援体制整備事業		支援を必要とする高齢者に対し、多様な生活支援を提供するための基盤整備を実施する。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	前年度に引き続き、少子高齢化に伴う担い手不足に対応するため、担い手養成を実施し多様なサービスへのマッチングなどを実施。また、多様な関係者間による地域の支え合い仕組みづくり会議を市全域及び小地域2箇所を設置し、地域づくりに向けて情報共有・意見交換を行った。		実施	実施	実施	
	◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価	評価に対する説明					
B	平成27年度から担い手養成を実施しているが、年々受講者が減少。講座実施方法等、検討が必要である。					

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

大項目	(3) 地域での生活不安や困難に対応するセーフティネットとなる施策や活動を推進します。
具体的な取り組み	37 失業者や生活困難世帯に対する貸付事業を通じて生活不安の解消を支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	生活福祉資金の貸付	府社協からの委託事業として、所得が少ない世帯、障がい者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に安定した生活を送れるよう、必要な相談支援を行い各種の資金貸付を行っている。
宇治市社会福祉協議会	不動産担保型生活資金の貸付	府社協の委託事業として、現在、暮らしている自己所有の不動産(土地・家屋)に、今後も将来にわたって住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、その不動産を担保として生活資金の貸付を行っている。
宇治市社会福祉協議会	くらしの資金の貸付	宇治市よりの受託事業。生活困窮世帯に対し、経済的自立と生活意欲の向上を図ることを目的として、夏期(7月)及び冬期(12月)の2回、100,000円を限度としてくらしに必要な資金貸付を行っている。
宇治市社会福祉協議会	学習支援事業～うじピヨンの学び舎～	宇治市よりの受託事業。宇治市が適当と認めた中学生を対象に、原則週二回二時間、長期休みには週三回の学習支援を実施している。学習支援員には将来像のモデル的な存在として主に大学生に協力してもらっている。

実施主体・担当課	事業	事業概要				
宇治市 地域福祉課	くらしの資金貸付事業	生活保護(生活扶助)基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上に資するため、世帯あたり100,000円を上限に、最長20カ月の償還期間で生活資金の貸付を行う。 (福)宇治市社会福祉協議会に事務を委託し、年2回(夏期・冬期)の受付期間を設ける。				
		◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		貸付実績 夏期貸付:730,000円(8件) 冬期貸付:1,350,000円(14件)		【夏期貸付】 7月1日～7月12日 受付 【冬期貸付】 12月2日～12月13 日受付	【夏期貸付】 7月1日～7月15日 受付 【冬期貸付】 12月1日～12月15 日受付	【夏期貸付】 7月1日～7月15日 受付 【冬期貸付】 12月1日～12月15 日受付
		当該年度(平成30年4月～平成31年3月)の償還率 58.4% (前年度 64.7%)				
◆2018年度(平成30年度)の評価						
評価		評価に対する説明				
B		低所得者等の生活意欲の向上と自立助成を図り、一定の効果は上がってきていると考えるが、経済状況の変化や他の福祉制度の変更を受け、対象者の要件など、制度の見直しが必要であると考えます。 また、償還率向上のため、業務を委託している宇治市社会福祉協議会と連携した対応が必要である。				

宇治市 こども福祉課	ひとり親家庭等福祉生活資金 貸付金		緊急に生活費等が必要となったひとり親家庭に対し、無利子で生活資金を貸し付けている。貸付限度額:50,000円以内		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	貸付件数 0件		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
B	必要な方が利用できるよう、制度を今後も周知していく必要がある。また、利用者ニーズを探り、より利用しやすい制度を検討する必要がある。				

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

(3) 地域での生活不安や困難に対応するセーフティネットとなる施策や活動を推進します。

具体的な取り組み	38 失業者や障害者の就労機会や雇用の確保に向けた取り組みを推進します。
----------	--------------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市産業振興課	宇治労政ニュース発行事業	労働情勢に関する情報や勤労者を対象にした情報を広く提供するため、「宇治労政ニュース」を作成する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		年4回発行して希望者へ紙面配布をし、主に市のホームページへの掲載、メール配信による情報提供に努め、労働情勢に関する情報を周知した。	希望者へ紙面配布をし、主に市のホームページに掲載、メール配信による情報提供に努める。	希望者へ紙面配布をし、主に市のホームページに掲載、メール配信による情報提供に努める。	希望者へ紙面配布をし、主に市のホームページに掲載、メール配信による情報提供に努める。
		◆2018年度(平成30年度)の評価			
	評価	評価に対する説明			
	B	HP掲載やメール配信により、労働情勢等に関する情報について、時期に応じた情報を伝達することができているが、より効果的な周知方法について検討する必要がある。			
宇治市産業振興課	城南地域職業訓練協会運営補助事業	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		近隣市町と協調して運営補助金を交付した。求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・簿記・医療事務等を実施した。41講座開講し、201人が受講した。	近隣市町と協調して運営補助金を交付する。	近隣市町と協調して運営補助金を交付する。	近隣市町と協調して運営補助金を交付する。
		◆2018年度(平成30年度)の評価			
	評価	評価に対する説明			
	B	概ね計画どおりに事業が実施され、受講者の職業能力向上に役立っているが、受講者がおらず開講されない講座もあった。ニーズにあった講座の設定や、受講者の増加のため広報方法について検討してもらう必要がある。			

宇治市 産業振興課	緊急雇用対策事業	国が創設した「地域人づくり事業」に基づき京都府緊急雇用対策基金を活用した事業を実施し、雇用拡大・処遇改善を図る。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	平成30年度は未実施。			
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
D	一時休止。国・府制度等と合わせて実施。			
宇治市 こども福祉課	ひとり親家庭自立支援給付事業	ひとり親家庭の就業をより効果的に促進するため、資格取得のための費用等の一部を給付金として支給する。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	高等職業訓練促進給付金 訓練促進給付金 16件 高等職業訓練促進給付金 修了支援給付金 4件 自立支援教育訓練給付金 5件 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 0件	継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	就職に有利な資格取得のために養成機関等で講座を受講したひとり親家庭の親に給付金を支給し、修業中の経済的な負担を軽減することができた。また母子・父子自立支援員が修業状況を確認し相談に応じるなど資格の取得を支援することで、ひとり親家庭の自立促進できた。一方で、本事業は自立支援員による相談・支援によるところが大きいいため、自立支援員の配置拡充に努めたい。			

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

柱	5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供 地域で支援を必要としている人からのSOSを見逃さず、必要な情報や適切な福祉サービスの利用につなげていく人とひととのネットワークづくり(小地域ネットワーク活動)を支援し、きめ細やかな相談体制の構築を推進します。
---	---

大項目	(1) 困ったときに気軽に相談できるしくみづくりを推進します。
具体的な取り組み	39 分野別の相談窓口だけでなく、総合的な相談窓口の充実を図ります。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	弁護士による法律相談	弁護士による無料法律相談を開催していたが、年々予約件数が減少したため一定の目的は達成したと判断し、平成30年度末をもって事業を終了した。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	福祉なんでも相談の開催	社協職員による、福祉に関するサービスや制度、その実施機関や相談先の紹介等を行っている。
宇治市社会福祉協議会	弁護士による法律相談	弁護士による法律相談を開催している。 (週1回 定員1日8名 一人20分)
宇治市社会福祉協議会	司法書士による登記相談	司法書士による登記相談を開催している。 (月3回 定員1日5名 一人30分)
宇治市社会福祉協議会	司法書士による多重債務相談	司法書士による多重債務相談を開催している。 (月1回 定員1日9名 一人1時間)
宇治市社会福祉協議会	司法書士による成年後見相談	司法書士による成年後見相談を開催している。 (多重債務相談と合わせて定員1日9名 一人1時間)
宇治市社会福祉協議会	社会保険労務士による年金・社会保険相談	社会保険労務士による年金・社会保険相談を開催している。 (月1回 定員なし)

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 生活支援課	生活困窮者に係る自立支援	生活困窮者が抱える問題について、相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、様々な支援を一体的・計画的に行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		①自立相談支援事業…新規相談120件、のべ547件の相談を受け付けた。 ②住居確保給付金の支給…支給対象者3名に対し合計544,500円を支給した。 ③就労準備支援事業…事業利用者なし。 ④一時生活支援事業…対象者12名に対し、のべ216日間の食・住の提供を行った。 ⑤学習支援事業…利用生徒21名に対し、のべ100回の事業を実施した。	①継続して相談事業を実施。 ②継続して給付金の支給を実施。 ③事業を委託して実施。 ④継続して事業を実施。 ⑤継続して事業を実施。 ⑥家計改善支援事業を新たに実施。	①継続して相談事業を実施。 ②継続して給付金の支給を実施。 ③事業を委託して実施。 ④継続して事業を実施。 ⑤継続して事業を実施。 ⑥継続して事業を実施。	①継続して相談事業を実施。 ②継続して給付金の支給を実施。 ③事業を委託して実施。 ④継続して事業を実施。 ⑤継続して事業を実施。 ⑥継続して事業を実施。
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	B	様々な課題を抱える生活困窮者にいかに制度の周知を図り、相談窓口につなげるかが課題。生活困窮者に支援が届くよう、アウトリーチの手法を含め、効率的に事業の周知を図るとともに、庁内関係各課、庁外関係機関、民間団体等と連携を図り、対象者を相談窓口につなげる必要がある。			
宇治市 保健推進課	乳児家庭全戸訪問事業	生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問することにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況や養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他援助を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供に結びつけることができた。 訪問件数 478件	継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	B	訪問の中で、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭を、適切なサービスにつなげることができた。			

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

宇治市 健康 生きがい課	家族介護者支援事業	要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。 ①紙おむつ等給付事業:要介護4・5の在宅高齢者等の紙おむつ等を給付する。(月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等5,000円上限、市民税非課税世帯) ②リフレッシュ事業:介護者の交流事業や介護知識・技術習得教室を実施する。 ③家族介護慰労事業:要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者を1年間介護サービスを利用せずに介護している家族に慰労金を支給する。 ④家族介護者教室:介護者の健康管理と介護者の心身の負担を軽減するため、介護予防に関する知識の普及啓発や、介護者同士のピアカウンセリングの場となる教室を実施する。 ⑤はいかい高齢者家族安心事業:徘徊のおそれがあると認められる高齢者またはその家族等にGPS機能を備えた機器を貸与する。 ⑥SOSネットワークの事前登録を行い、行方不明者を早期発見できる体制につとめる。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	①紙おむつ等給付事業:給付件数 671件 ②リフレッシュ事業:交流会参加人数 77人 介護知識・技術習得教室参加人数 58人 ③家族介護慰労事業:慰労金支給件数 0人 ④家族介護者教室参加延べ人数 81人 ⑤はいかい高齢者家族安心事業:利用者数 40人	①実施 ②実施 ③実施 ④家族介護者教室参加延べ人数 50人 ⑤実施	①実施 ②実施(拡充) ③実施 ④継続実施 ⑤実施	①実施 ②実施 ③実施 ④継続実施 ⑤実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	計画的に事業を実施しており、事業の周知・啓発に努めながら、事業を継続する。リフレッシュ事業の介護知識・技術習得教室については、令和2年度より、対象者を一部拡充して実施する。			
宇治市 教育支援課	青少年電話相談活動事業	青少年の人的成長を育むため、市民ボランティア相談員が電話で青少年問題に係る相談を受ける。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	平日の午前9時～午後5時まで3交代制で相談を実施した。平成30年度に「宇治青少年こころの電話」に寄せられた相談内容は「教育」のほか、「健康」、「家族」、「人生」についての相談があった。 平成30年度相談件数 611件	相談件数 500件	検討	検討
	◆2018年度(平成30年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
C	青少年及び保護者が相談しやすい環境を整備し、青少年の健全育成を図った。市民ニーズ及び相談状況等を踏まえ、他の制度との連携した今後の事業のあり方について検討する。			

(1) 困ったときに気軽に相談できるしくみづくりを推進します。

具体的な 取り組み	40 民生児童委員による、身近な地域での相談活動の充実を支援します。
--------------	------------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		—	—	—	—
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	—	—			

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

(1) 困ったときに気軽に相談できるしくみづくりを推進します。

具体的な 取り組み	41 市社協が実施する、ふれあい福祉センター相談事業を引き続き支援します。
--------------	---------------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	ふれあい福祉センター(相談事業) の開設	市民のさまざまな困りごと悩みごとを、気軽に持ち込める相談窓口として、「ふれあい福祉センター」を設置し一人ひとりが自分の悩みを解決できるよう、社協職員による「福祉なんでも相談」の他、「弁護士による法律相談」「司法書士による登記・多重債務・成年後見相談」・「社会保険労務士による年金・社会保険相談」の時間を設けている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込み					
2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
—		—	—	—	
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価	評価に対する説明				
—	—				

(1) 困ったときに気軽に相談できるしくみづくりを推進します。

具体的な 取り組み	42	地域で支援を必要としている人を行政や福祉サービス事業者、場合によっては弁護士・司法書士・社会福祉士や医療関係等の専門分野につなぐ横断的なネットワークづくりを推進します。
--------------	----	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	地域包括ケア会議、小地域包括ケア 会議への参画	健康生きがい課を中心とした地域包括ケア会議への参画と、各 地域包括支援センターが主催している小地域包括ケア会議へ参 画している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		—	—	—	—
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	—	—			

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

大項目	(2) 福祉サービスの利用支援をはじめとした自立支援の取り組みを推進します。
具体的な取り組み	43 成年後見制度助成事業や日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)、コンタクトパーソン事業等、権利擁護の取り組みを積極的に広報し、利用者に対するきめ細やかな取り組みを支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	財産管理サービスの実施	公社が契約した貸金庫にて重要書類等を預かるサービスであるが、ここ数年利用実績も問合せもないことから、平成30年度末をもって事業を終了した。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	福祉サービス利用援助(日常生活自立支援事業)	福祉サービスの利用方法や日常生活上の手続きの援助、金銭管理などを行うことが一人では不安な高齢者・知的、精神障がいのある方に生活支援員が定期的に訪問し援助を行う。
宇治市社会福祉協議会	地域生活支援サポーター講座の開催(福祉サービス利用援助事業関連講座)	高齢者や障がい者の地域生活への理解者を増やし、福祉サービス利用援助事業に携わる「生活支援員」の確保を目的に、府内南部市町社協合同による各種講座を開催している。

実施主体・担当課	事業	事業概要		
宇治市障害福祉課	地域活動支援センター等事業	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	地域活動支援センター利用実績 4か所延べ人数598名	地域活動支援センター利用見込 4か所延べ人数800名	地域活動支援センター利用見込 4か所延べ人数800名	地域活動支援センター利用見込 4か所延べ人数800名
	◆2018年度(平成30年度)の評価		評価に対する説明	
評価	A 創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の場であり、他のサービスにはないため、今後も事業の継続が必要である。			
宇治市障害福祉課	障害者成年後見制度利用支援事業	判断能力が不十分な精神障害者及び知的障害者のうち近親者がいないなど、当事者による成年後見人の申立期待できない状況にある者について、審判の請求手続きの代行を行うとともに低所得者については後見人の報酬等を市が助成する。		
	◆成果・実績及び見込み			
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	市長申し立て:1件 後見人等への報酬助成:17件	市長申し立て:2件 後見人等への報酬助成:20件	市長申し立て:2件 後見人等への報酬助成:23件	市長申し立て:2件 後見人等への報酬助成:23件
	◆2018年度(平成30年度)の評価		評価に対する説明	
評価	A 当事業は、本人と家族の同意が必須であり、制度への理解に時間がかかるため、著しい増加は見込めないものの、相談は増えており需要は高い。家族支援がない障害者が増加する中、本事業の周知徹底が課題となっている。			

宇治市 健康 生きがい課	高齢者成年後見制度助成事業	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、身寄りがいないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にある者について、成年後見制度の利用を確保するため、審判の請求手続きの代行を行うとともに、生活保護受給者については申立費用及び後見人の報酬を市が助成する。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	申立件数 10件 報酬助成件数 41件		実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	制度の利用が必要な高齢者に対して、成年後見等の市長申立及び報酬の助成を行った。 平成31年度からは、より生活状況に見合った助成基準に見直した。				
宇治市 健康 生きがい課	権利擁護事業	介護保険サービスをはじめ、高齢者保健福祉サービスに関する利用者保護を推進するため、弁護士などによる福祉オンブズマン制度を設ける。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	申立件数 0件		実施	実施	実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。				

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

大項目	(3) より効果的な広報・情報提供のあり方を検討します。
具体的な取り組み	44 市政だより・ホームページ、情報誌の発行や掲示板の設置等、より分かりやすく正確に伝わる情報の発信を推進します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	ホームページや広報誌による福祉関連情報・介護予防関連情報の発信	ホームページやブログ、広報誌「ぽっぽ」を通じて福祉関連情報・介護予防関連情報の発信を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	「社協だより」の発行	市社協の各種事業をはじめ、市民に役立つ情報を社協だより(年3回)で提供し、社協活動のPRおよび市民への福祉活動への理解促進を図っている。
宇治市社会福祉協議会	社協ホームページの運営	宇治市社協や各種情報を気軽に知ってもらうため、ホームページを設置している。広報紙の発行ではタイムラグが生じてしまう情報を発信するツールとしても活用している。
宇治市社会福祉協議会	うじピョン公式twitterの活用	宇治市社協の「今」や各種情報をタイムリーに発信するとともに、素早く情報集約ができるという利点を生かし、twitterを活用した広報活動を行っている。
宇治市社会福祉協議会	0123さい宇治子育て情報誌発行への協力	地域子育て支援基幹センター、市社協、NPOなどが協働して、子育てに関するあらゆる情報を掲載した冊子を作成し、乳幼児を中心とした子育て中の方々に普及する。
宇治市社会福祉協議会	地元紙への地域活動記事の定例掲載	地元新聞の協力を得て、毎月末に「うじピョンの〇〇な話」という記事を掲載。福祉の催し、ボランティア活動情報や活動を通じたエピソードなどを掲載して、活動等への参加につながるきっかけづくりを行っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 秘書広報課	宇治市ホームページの運営	平成22年3月に市ホームページのリニューアルを実施。CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を導入し、コンテンツ作成時に色覚障害者のための色のコントラストチェックができるほか、視覚障害者が使う音声読み上げソフトに対応した構成となった。また、トップページ上部には文字サイズを大・中・小の三段階で変更できるボタンを設置し、色を反転表示できるボタンも設置している。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	アライド・ブレインズ(株)が自治体のホームページの閲覧のしやすさをランクづけした調査結果によると、色覚障害者や視覚障害者、高齢者にとっても市のホームページの閲覧がしやすいかどうかの評価が、CMSを導入した22年度以降は継続的にD評価(前年度までのA評価と同等)の評価を受けている。	継続	継続	継続	
◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価	評価に対する説明				
A	現状の運用を継続する。				

宇治市 介護保険課	介護保険制度出張講座		介護保険制度は、介護を必要とする人を社会全体で支える仕組みであり、市民が制度を理解し、適切なサービスを利用できるように、当制度の周知を図り、利用者の利便性に処するため、第2期介護保険事業計画から位置づけて、事業を実施している。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
	3回開催し、参加者は197人であった。介護保険制度に関する知識の普及、啓発を図ることができた。		現在2回開催、合計 10回開催(予定)	10回開催(予定)	10回開催(予定)
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
B	開催回数が予定していた10回に満たなかったため、今後は出張講座の申し込みが増えるよう市民へ周知を行っていく必要がある。				

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

(3)より効果的な広報・情報提供のあり方を検討します。

具体的な 取り組み	45 福祉サービス事業者等からの恒常的な情報の発信を支援します。
--------------	----------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込み				
		2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)
		—	—	—	—
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	—	—			

大項目	(4) 利用者の満足度を高める取り組みを推進します。
具体的な取り組み	46 苦情対応・オンブズマン制度等の利用促進を図り、事業者等への助言・指導・研修等の取り組みを推進します。

＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	福祉サービス事業者の質の向上に努め、在宅介護の積極的事業展開を図る	公社の役割を踏まえつつ、社内の研修充実によるサービス向上をはじめ、福祉人材研修や介護技術習得研修の実施、介護実習の開放等、広く市内他事業所にも呼びかけ、サービスの質の向上に努める。
宇治市福祉サービス公社	介護予防関連研修事業	介護予防関連研修を実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 介護保険課	介護相談員派遣事業	申し出のあったサービス事業者等に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質の向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止することや、利用者や家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事前的な対応を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2018年度成果・実績 (平成30年度)	2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	特別養護老人ホーム8ヶ所、介護老人保健施設3ヶ所、地域密着型特養1ヶ所、グループホーム15ヶ所に派遣	特別養護老人ホーム8ヶ所、介護老人保健施設3ヶ所、地域密着型特養1ヶ所、グループホーム18ヶ所に派遣	特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームを中心に派遣	特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームを中心に派遣	
◆2018年度(平成30年度)の評価		評価に対する説明			
評価	概ね計画どおりであるが、今後も介護相談員・事業所・事務局の3者がそれぞれと信頼関係を築き、介護相談員が活動しやすい環境を整える必要がある。また、介護相談員同士の交流や研修を充実させ、質の向上を図る。				
	B				

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

宇治市 介護保険課	福祉人材研修事業		介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数及び介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。			
	◆成果・実績及び見込み					
	2018年度成果・実績 (平成30年度)		2019年度見込 (令和元年度)	2020年度見込 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	
	ケアマネジャー向けの研修を3回、介護サービス事業所職員向けの研修を7回実施。		ケアマネジャー向けの研修を2回、介護サービス事業所職員向けの研修を8回実施。	引き続き、実施	引き続き、実施	
	◆2018年度(平成30年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員の資質向上、スキルアップに寄与しており、一定の成果が出ている。今後も介護サービスの質の向上・確保に繋がるようニーズや課題を的確に捉え、研修を実施する。				

